

東大和市国民健康保険  
第3期特定健康診査等実施計画（素案）

平成30年1月  
東大和市



<b>第1章 計画策定について</b>		
1. 計画策定の趣旨		1
2. 特定健康診査等実施計画の位置づけ		2
3. 計画期間		3
4. 実施体制・関係者連携		3
<b>第2章 東大和市の特性把握と分析結果</b>		
1. 東大和市の特性把握		5
(1) 基本情報		5
(2) 医療費等の状況		7
(3) 介護保険の状況		8
① 要支援・要介護認定者数の推移（東京都、東京都市部、東大和市）		8
② 要支援・要介護度別認定者数の推移		9
③ 介護予防給付費及び介護給付費の実績		10
2. 医療情報分析結果		11
(1) 基礎統計		11
(2) 高額レセプトの件数及び医療費		13
① 高額レセプトの件数及び割合		13
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向		15
(3) 疾病別医療費		19
① 大分類による疾病別医療費統計		19
② 中分類による疾病別医療費統計		23
③ 生活習慣病に係る医療費分析		33
<b>第3章 特定健康診査の実施状況</b>		
1. 特定健康診査の受診率		37
2. 特定健康診査実施に係る主な取り組み		38
3. 特定健康診査の分析結果		39
(1) 有所見者割合		39
(2) 質問別回答状況		42
4. 特定健康診査実施状況に基づく課題と対策		45
<b>第4章 特定保健指導の実施状況</b>		
1. 特定保健指導の実施率		47
2. 特定保健指導実施に係る主な取り組み		50
3. 特定保健指導の効果分析		51
4. 特定保健指導対象者の分析		53
(1) 特定保健指導レベル該当状況		53
(2) 特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況		55
5. 特定保健指導実施状況に基づく課題と対策		57
<b>第5章 特定健康診査等実施計画について</b>		
1. 目標		59
2. 対象者数推計		59

	(1) 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み	59
	(2) 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み	60
	3. 実施方法	61
	(1) 特定健康診査の実施方法	61
	(2) 特定保健指導の実施方法	62
	4. 実施スケジュール	64
<b>第6章 その他</b>		
	1. 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し	67
	(1) 評価	67
	(2) 評価時期	67
	2. 計画の公表及び周知	67
	3. 事業運営上の留意事項	68
	4. 個人情報の保護	68
<b>年度別 特定健康診査結果分析</b>		
	1. 有所見者割合	71
	2. 質問別回答状況	80
<b>巻末資料</b>		
	1. 用語解説集	1
	2. 疾病分類表（2013年版）	2

# 第1章 計画策定について

# 第1章 計画策定について

## 1. 計画策定の趣旨

---

我が国では、近年、急速な少子高齢化やライフスタイルの変化など、大きな環境変化に直面し、医療制度を今後も持続していくための構造改革が急務となっている。

このような状況に対応するため、健康と長寿を確保しつつ、医療費の伸びの抑制にもつながることから、生活習慣病を中心とした疾病予防を重視することを目的に、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号。以下「法」という。)に基づき、被保険者に対し生活習慣病に関する健康診査及び保健指導を実施することとされた。

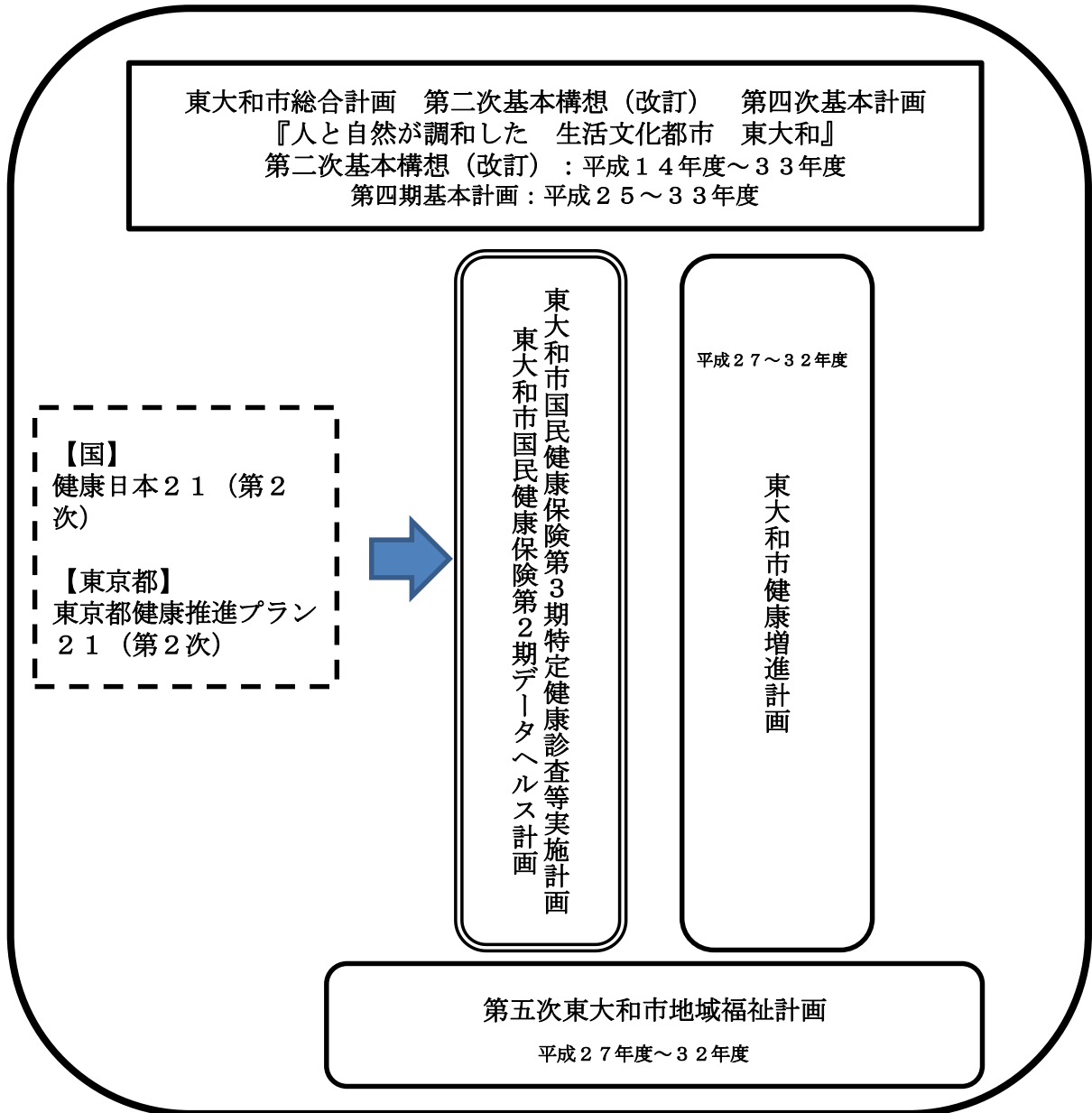
東大和市国民健康保険においては、法第19条に基づき東大和市国民健康保険第1期特定健康診査等実施計画(以下「第1期特定健康診査等実施計画」という。)及び東大和市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画(以下「第2期特定健康診査等実施計画」という。)を策定し、特定健康診査及び特定保健指導を実施してきたところである。

このたび、前期計画の計画期間満了に伴い、平成30年度を初年度とする東大和市国民健康保険第3期特定健康診査等実施計画(以下「本計画」という。)を策定する。

## 2. 特定健康診査等実施計画の位置づけ

本計画は「特定健康診査等基本方針（高齢者の医療の確保に関する法律第18条及び第19条）」に基づき策定する計画である。

計画策定にあたっては、国の計画である「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21（第2次）」に示された基本方針や、本市の「総合計画 第二次基本構想（改訂）第四次基本計画」に掲げる“健康であたたかい心のかよいあうまちづくり”に即しつつ、第2期データヘルス計画、地域福祉計画、健康増進計画等の関連計画との整合を図り、第2期特定健康診査等実施計画の実施状況等を踏まえながら、進めていくこととする。



### 3. 計画期間

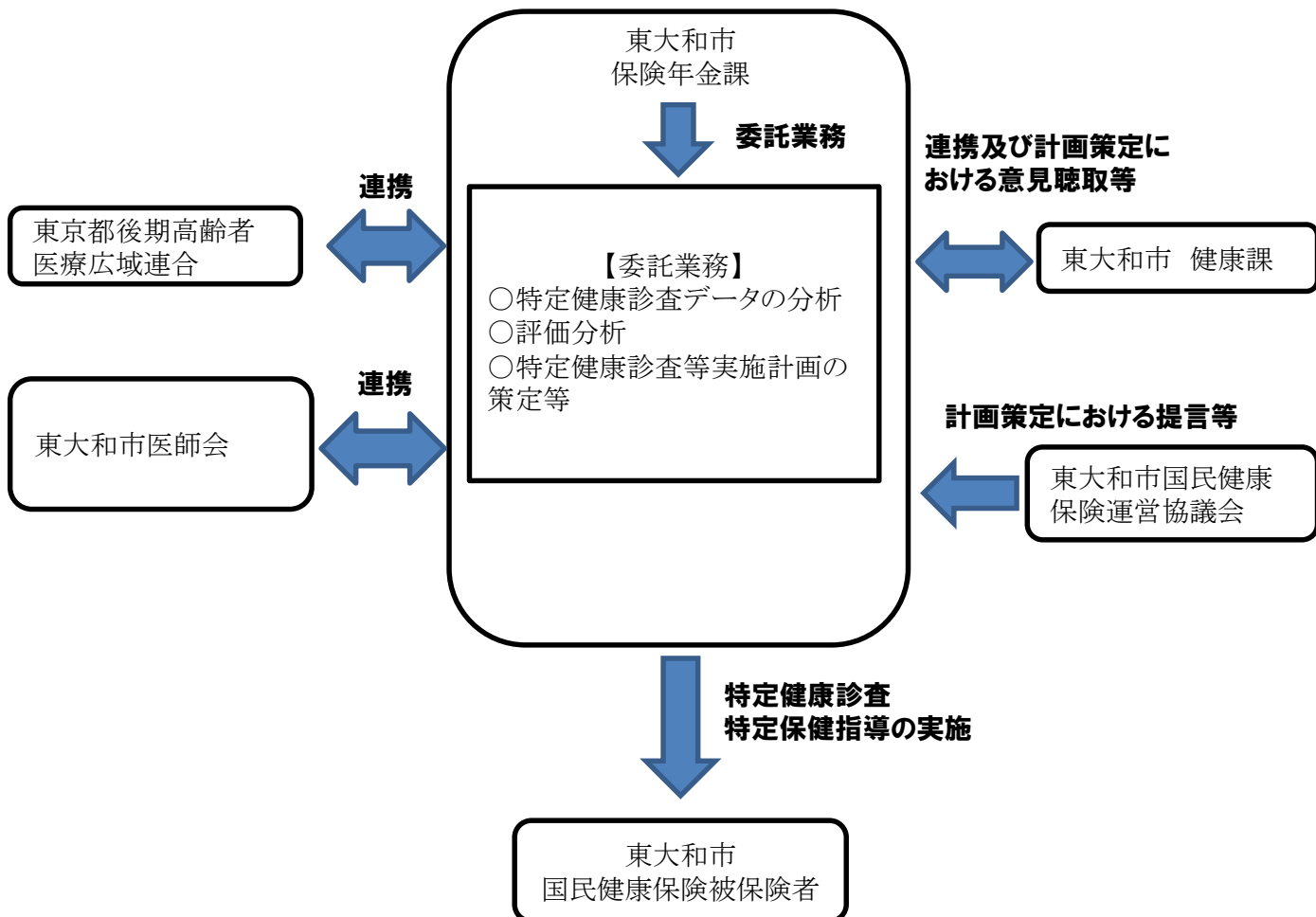
本計画は、厚生労働省において、保険者による特定健康診査、特定保健指導を着実に実施し、保険者全体で更なる実施率の向上を達成する観点から「第3期特定健康診査等実施計画期間における特定健診・特定保健指導の運用の見直しについて」の中で、第三期からは6年ごとに策定することとなったことから、平成30年度から平成35年度までの6年を計画期間とする。

### 4. 実施体制・関係者連携

本計画に掲げる特定健康診査・特定保健指導の実施については、本市保険年金課と衛生部門が連携し、実施していくものであるが、被保険者の健康保持や健康増進等のため、医師会や東京都後期高齢者医療広域連合と連携を行い、事業を実施することが望ましい。

次に、実施体制図を示す。

東大和市 保健事業の実施における体制図





## 第2章 東大和市の特性把握と分析結果

# 第2章 東大和市の特性把握と分析結果

## 1. 東大和市の特性把握

### (1) 基本情報

本市の平成24年度から平成28年度における、人口構成概要を以下に示す。

人口概要(平成24年度～平成28年度)

	0歳～4歳	5歳～9歳	10歳～14歳	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳
平成24年度	3,853	3,823	4,034	3,909	4,089	4,578	5,225	6,603	7,015
平成25年度	3,791	3,885	4,007	3,998	4,150	4,537	5,045	6,427	7,220
平成26年度	3,771	3,884	4,026	4,089	4,067	4,369	5,152	6,173	7,229
平成27年度	3,838	3,825	3,972	4,078	4,113	4,586	5,247	5,918	7,087
平成28年度	3,790	3,870	3,901	4,176	4,077	4,458	4,975	5,765	6,830
	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	総計	
平成24年度	5,855	4,671	4,629	6,476	5,322	5,124	8,361	83,567	
平成25年度	6,265	4,945	4,566	6,009	5,656	5,298	8,872	84,671	
平成26年度	6,586	5,254	4,551	5,598	5,742	5,557	9,334	85,382	
平成27年度	6,677	5,582	4,636	5,146	6,017	5,552	9,818	86,092	
平成28年度	6,908	5,856	4,651	4,830	6,350	5,297	10,310	86,044	

男女・年齢階層別 人口ピラミッド(平成24年度～平成28年度)

単位：人



出典：東大和市 年齢別人口統計表

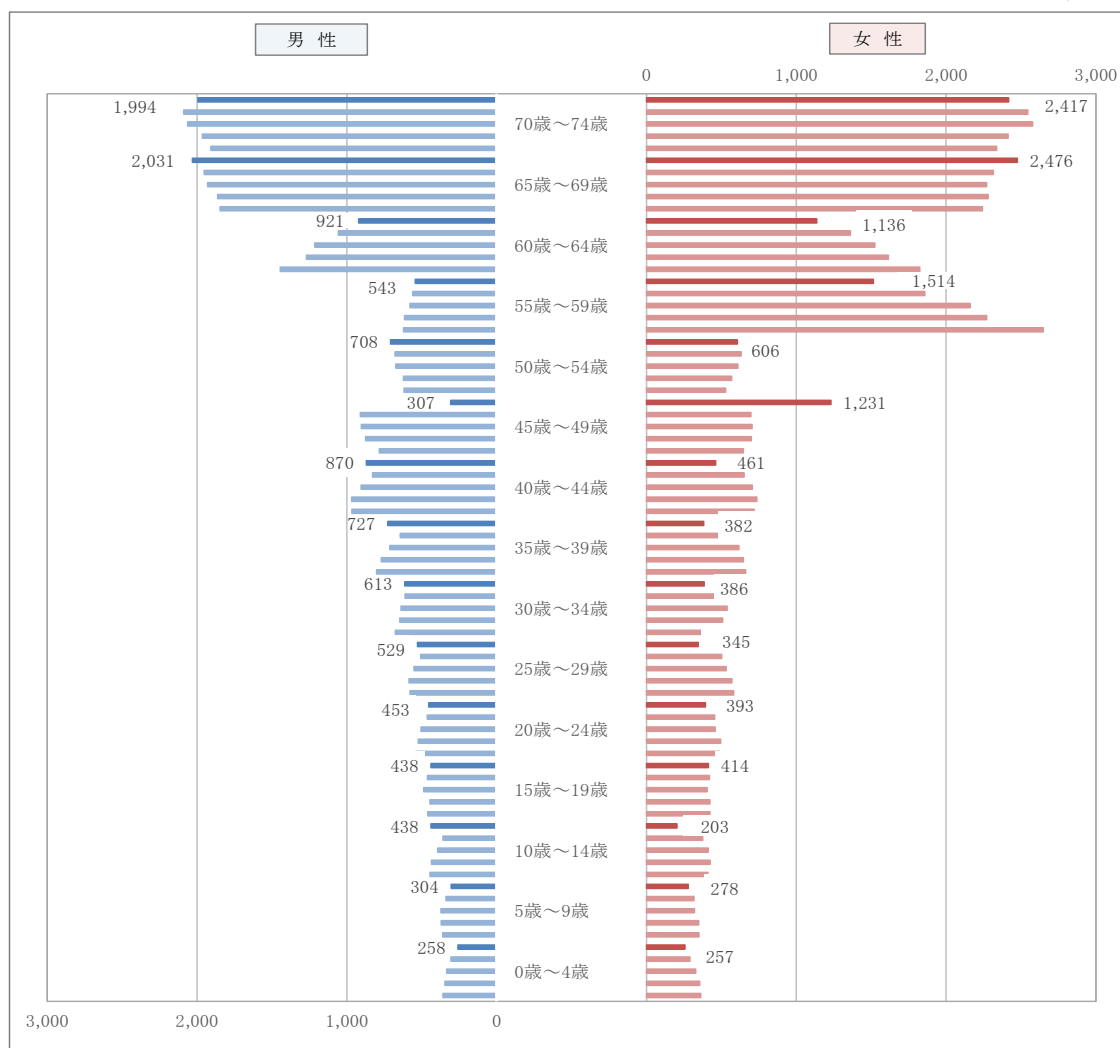
本市の平成24年度から平成28年度における、被保険者構成概要を以下に示す。

被保険者数概要(平成24年度～平成28年度)

	0歳～4歳	5歳～9歳	10歳～14歳	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳
平成24年度	720	711	856	883	1,027	1,160	1,213	1,463
平成25年度	700	718	860	869	1,018	1,155	1,156	1,418
平成26年度	662	693	805	892	965	1,083	1,177	1,331
平成27年度	596	656	733	882	918	1,008	1,135	1,195
平成28年度	515	582	641	852	846	874	999	1,109
	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	総計
平成24年度	1,685	1,430	1,146	1,394	3,270	4,088	4,245	25,291
平成25年度	1,705	1,575	1,191	1,348	2,885	4,143	4,379	25,120
平成26年度	1,612	1,609	1,284	1,281	2,739	4,201	4,639	24,973
平成27年度	1,479	1,607	1,310	1,223	2,418	4,269	4,635	24,064
平成28年度	1,331	1,538	1,314	1,175	2,057	4,507	4,411	22,751

男女・年齢階層別 被保険者ピラミッド(平成24年度～平成28年度)

単位：人



出典：国民健康保険 被保険者年齢別集計表

## (2) 医療費等の状況

本市の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示す。

### 医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	東大和市	都	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.1	0.1	0.3	0.3
診療所数	2.3	2.7	2.8	3.0
病床数	19.2	27.5	50.3	46.8
医師数	5.8	9.2	7.5	9.2
外来患者数	673.4	602.9	688.2	668.3
入院患者数	15.9	13.0	19.8	18.2
受診率	689.2	615.9	708.0	686.5
一件当たり医療費(円)	34,200	32,010	36,130	35,330
一般(円)	34,230	31,950	36,080	35,270
退職(円)	33,250	36,480	37,660	37,860
後期(円)	0	0	0	0
外来				
外来費用の割合	61.5%	64.1%	59.3%	60.1%
外来受診率	673.4	602.9	688.2	668.3
一件当たり医療費(円)	21,540	20,960	22,060	21,820
一人当たり医療費(円)	14,510	12,630	15,180	14,580
一日当たり医療費(円)	13,730	13,550	14,130	13,910
一件当たり受診回数	1.6	1.5	1.6	1.6
入院				
入院費用の割合	38.5%	35.9%	40.7%	39.9%
入院率	15.9	13.0	19.8	18.2
一件当たり医療費(円)	571,210	542,590	524,900	531,780
一人当たり医療費(円)	9,070	7,080	10,400	9,670
一日当たり医療費(円)	38,830	39,790	32,470	34,030
一件当たり在院日数	14.7	13.6	16.2	15.6

出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

### (3) 介護保険の状況

#### ① 要支援・要介護認定者数の推移（東京都、東京都市部、東大和市）

要支援・要介護認定者数は年々増加傾向にあり、平成28年度の第1号被保険者22,188人のうち、15.9%にあたる3,537人が要支援・要介護認定者となっている。認定率をみると、東京都市部、東京都よりも低い水準である。

#### 要介護等認定者数、第1号被保険者数、認定率の推移

(単位：人)

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	伸び率		
					平成26～27年度	平成27～28年度	
東大和市	要介護等認定者数①	前期高齢者	552	530	535	-4.0%	0.9%
		後期高齢者	2,653	2,837	3,002	6.9%	5.8%
		合計	3,205	3,367	3,537	5.1%	5.0%
	第1号被保険者数②	前期高齢者	11,497	11,714	11,588	1.9%	-1.1%
		後期高齢者	9,534	10,013	10,600	5.0%	5.9%
		合計	21,031	21,727	22,188	3.3%	2.1%
	要介護等認定率①/②	前期高齢者	4.8%	4.5%	4.6%		
		後期高齢者	27.8%	28.3%	28.3%		
		合計	15.2%	15.5%	15.9%		
東京都市部	要介護等認定者数①	前期高齢者	23,005	23,265	23,176	1.1%	-0.4%
		後期高齢者	138,308	145,463	150,157	5.2%	3.2%
		合計	161,313	168,728	173,333	4.6%	2.7%
	第1号被保険者数②	前期高齢者	508,322	516,627	516,887	1.6%	0.1%
		後期高齢者	437,125	456,778	479,496	4.5%	5.0%
		合計	945,447	973,405	996,383	3.0%	2.4%
	要介護等認定率①/②	前期高齢者	4.5%	4.5%	4.5%		
		後期高齢者	31.6%	31.8%	31.3%		
		合計	17.1%	17.3%	17.4%		
東京都	要介護等認定者数①	前期高齢者	72,588	73,857	73,209	1.7%	-0.9%
		後期高齢者	451,061	469,890	483,310	4.2%	2.9%
		合計	523,649	543,747	556,519	3.8%	2.3%
	第1号被保険者数②	前期高齢者	1,537,021	1,559,190	1,554,955	1.4%	-0.3%
		後期高齢者	1,384,255	1,432,120	1,490,026	3.5%	4.0%
		合計	2,921,276	2,991,310	3,044,981	2.4%	1.8%
	要介護等認定率①/②	前期高齢者	4.7%	4.7%	4.7%		
		後期高齢者	32.6%	32.8%	32.4%		
		合計	17.9%	18.2%	18.3%		

出典：東京都福祉保健局「介護保険事業状況報告」（各年9月実績）

## ②要支援・要介護度別認定者数の推移

平成28年度における第1号被保険者の要支援・要介護度別の分布では、要介護1が最も多く813人となっており、次いで、要支援1、要介護2となっている。

### 要支援・要介護認定者数の推移

(単位:人)

区分		第1号被保険者		
			65歳以上 75歳未満	75歳以上
要支援1	平成26年度	471	85	386
	平成27年度	552	86	466
	平成28年度	557	90	467
要支援2	平成26年度	479	82	397
	平成27年度	490	82	408
	平成28年度	542	88	454
要介護1	平成26年度	690	120	570
	平成27年度	741	116	625
	平成28年度	813	125	688
要介護2	平成26年度	530	90	440
	平成27年度	525	92	433
	平成28年度	551	84	467
要介護3	平成26年度	386	73	313
	平成27年度	407	51	356
	平成28年度	390	51	339
要介護4	平成26年度	348	47	301
	平成27年度	357	51	306
	平成28年度	391	47	344
要介護5	平成26年度	301	55	246
	平成27年度	295	52	243
	平成28年度	293	50	243
合計	平成26年度	3,205	552	2,653
	平成27年度	3,367	530	2,837
	平成28年度	3,537	535	3,002

出典:東京都福祉保健局「介護保険事業状況報告」(各年9月実績)

### ③介護予防給付費及び介護給付費の実績

次に平成28年度における介護予防給付費及び介護給付費の実績を以下に示す。

#### 介護予防給付費の実績

(単位：円)

	平成28年度
居宅介護予防サービス	292,155,489
介護予防訪問介護	47,005,379
介護予防訪問看護	14,618,699
介護予防訪問リハビリテーション	711,453
介護予防通所介護	126,146,475
介護予防通所リハビリテーション	14,522,976
介護予防福祉用具貸与	20,751,555
介護予防短期入所生活介護	2,082,046
介護予防短期入所療養介護	157,123
介護予防居宅療養管理指導	3,965,156
介護予防特定施設入居者生活介護	15,744,582
地域密着型介護予防サービス費	1,070,814
介護予防福祉用具購入費	1,297,862
介護予防住宅改修費	6,052,632
介護予防サービス計画費	38,028,737

#### 介護給付費の実績

	平成28年度
居宅介護サービス	1,854,259,466
訪問介護	293,797,721
訪問入浴介護	27,855,521
訪問看護	143,043,453
訪問リハビリテーション	13,060,096
通所介護	632,582,010
通所リハビリテーション	107,183,904
福祉用具貸与	146,733,681
短期入所生活介護	108,239,176
短期入所療養介護（老健）	22,366,630
短期入所療養介護（介護療養型）	78,761
特定施設入居者生活介護	285,470,225
特定施設入居者生活介護（短期利用型）	751,211
居宅療養管理指導	54,742,199
特定診療費	3,690
居宅介護福祉用具購入費	6,879,740
居宅介護住宅改修費	11,471,448
居宅介護サービス計画費	233,545,571
地域密着型介護サービス	226,123,432
認知症対応型共同生活介護	94,134,824
認知症対応型通所介護	51,276,727
小規模多機能型居宅介護	27,328,783
地域密着型通所介護	146,089,431
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1,428,491
施設介護サービス	766,060,256
介護老人福祉施設	1,052,503,444
介護老人保健施設	610,662,725
介護療養型医療施設	155,397,531
特定診療費	5,038,377
特別療養費	110,430

## 2. 医療情報分析結果

### (1) 基礎統計

当医療費統計は、東大和市国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外・調剤レセプトを対象として分析をする。

被保険者数、診療報酬明細書(以下「レセプト」という。)の件数、医療費、患者数等は以下のとおりである。被保険者数は平均22,154人、レセプト件数は平均26,458件、患者数は平均10,742人となった。

また、患者一人あたりの医療費は平均48,923円となった。

#### 基礎統計

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	
A	被保険者数(人)	23,211	22,708	22,522	22,448	22,312	22,220	22,164	
B	レセプト件数(件)	入院外	15,408	14,949	15,073	15,102	14,491	14,933	15,247
		入院	349	341	363	369	372	334	327
		調剤	11,704	11,123	11,156	11,181	10,726	11,065	11,390
		合計	27,461	26,413	26,592	26,652	25,589	26,332	26,964
C	医療費(円) ※	551,048,400	522,727,450	540,962,950	523,152,360	529,646,200	502,163,900	508,474,070	
D	患者数(人) ※	11,149	10,849	10,863	10,841	10,461	10,654	10,925	
C/A	被保険者一人当たりの平均医療費(円)	23,741	23,020	24,019	23,305	23,738	22,600	22,941	
C/B	レセプト一件当たりの平均医療費(円)	20,067	19,791	20,343	19,629	20,698	19,070	18,858	
C/D	患者一人当たりの平均医療費(円)	49,426	48,182	49,799	48,257	50,631	47,134	46,542	
B/A	受診率(%)	118.3%	116.3%	118.1%	118.7%	114.7%	118.5%	121.7%	
D/A	有病率(%)	48.0%	47.8%	48.2%	48.3%	46.9%	47.9%	49.3%	
		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	21,822	21,734	21,700	21,505	21,500	22,154		
B	レセプト件数(件)	入院外	14,900	15,122	14,304	14,312	15,015	14,905	178,856
		入院	369	364	344	345	345	352	4,222
		調剤	11,114	11,490	10,974	11,004	11,485	11,201	134,412
		合計	26,383	26,976	25,622	25,661	26,845	26,458	317,490
C	医療費(円) ※	534,219,720	546,043,390	506,535,770	512,628,910	528,415,520	525,501,553	6,306,018,640	
D	患者数(人) ※	10,730	10,823	10,403	10,481	10,719	10,742	128,898	
C/A	被保険者一人当たりの平均医療費(円)	24,481	25,124	23,343	23,838	24,577	23,721		
C/B	レセプト一件当たりの平均医療費(円)	20,249	20,242	19,770	19,977	19,684	19,862		
C/D	患者一人当たりの平均医療費(円)	49,787	50,452	48,691	48,910	49,297	48,923		
B/A	受診率(%)	120.9%	124.1%	118.1%	119.3%	124.9%	119.4%		
D/A	有病率(%)	49.2%	49.8%	47.9%	48.7%	49.9%	48.5%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために1.0倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。



平成26年度から平成28年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし年度別に分析をする。平成28年度を平成26年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数22,119人は、平成26年度24,723人より2,604人減少しており、医療費63億1,622万円は平成26年度63億6,610万円より4,988万円減少している。また、一カ月平均の患者数10,741人は、平成26年度11,554人より813人減少している。

### 年度別 基礎統計

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	24,723	23,645	22,119	
B	レセプト件数(件)	入院外	189,538	186,783	178,916
		入院	4,304	4,453	4,232
		調剤	141,968	139,442	134,424
		合計	335,810	330,678	317,572
C	医療費(円) ※	6,366,103,350	6,690,026,890	6,316,221,780	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	11,554	11,273	10,741	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	257,501	282,932	285,559	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	18,957	20,231	19,889	
D/A	有病率(%)	46.7%	47.7%	48.6%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

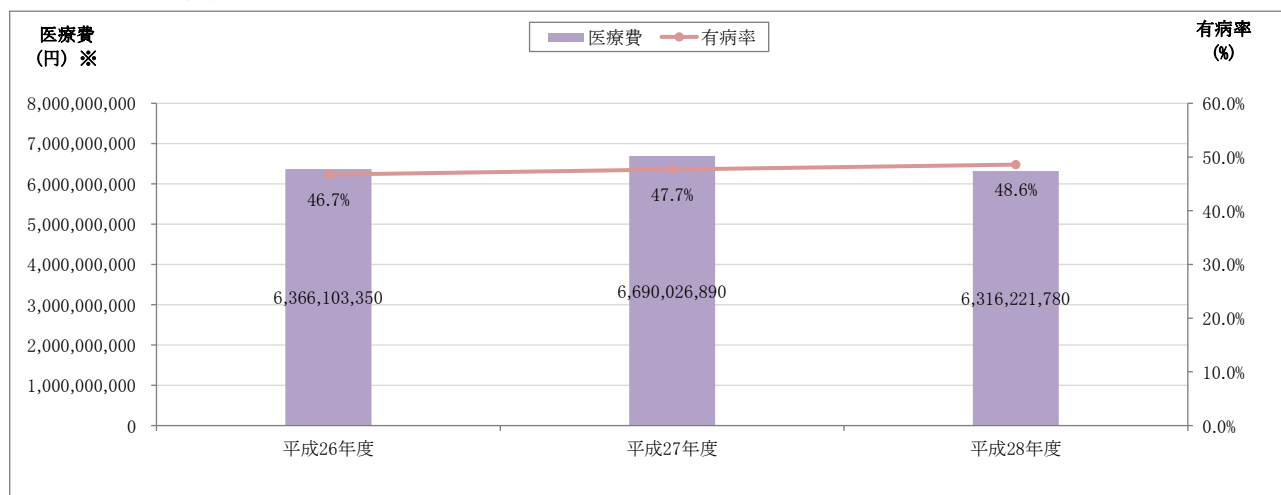
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

### 年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

## (2) 高額レセプトの件数及び医療費

### ① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下のとおり集計を行った。高額レセプトは2,040件発生しており、レセプト件数全体の0.6%を占める。高額レセプトの医療費は20億2,201万円となり、医療費全体の32.1%を占める。

#### 高額レセプトの件数及び割合

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	レセプト件数(件)	27,461	26,413	26,592	26,652	25,589	26,332	26,964
B	高額レセプト件数(件)	168	176	173	167	186	155	165
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.7%	0.7%	0.6%	0.7%	0.6%	0.6%
C	医療費(円) ※	551,048,400	522,727,450	540,962,950	523,152,360	529,646,200	502,163,900	508,474,070
D	高額レセプトの医療費(円) ※	176,746,540	170,691,530	177,561,740	159,326,190	178,241,240	148,402,940	159,444,070
E	その他レセプトの医療費(円) ※	374,301,860	352,035,920	363,401,210	363,826,170	351,404,960	353,760,960	349,030,000
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	32.1%	32.7%	32.8%	30.5%	33.7%	29.6%	31.4%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	26,383	26,976	25,622	25,661	26,845	26,458	317,490
B	高額レセプト件数(件)	178	169	170	169	164	170	2,040
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.6%	0.7%	0.7%	0.6%	0.6%	
C	医療費(円) ※	534,219,720	546,043,390	506,535,770	512,628,910	528,415,520	525,501,553	6,306,018,640
D	高額レセプトの医療費(円) ※	179,019,860	174,602,990	162,146,560	171,833,380	163,999,050	168,501,341	2,022,016,090
E	その他レセプトの医療費(円) ※	355,199,860	371,440,400	344,389,210	340,795,530	364,416,470	357,000,213	4,284,002,550
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	33.5%	32.0%	32.0%	33.5%	31.0%	32.1%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

平成26年度から平成28年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示す。

平成28年度高額レセプト件数2,047件は平成26年度1,860件より187件増加しており、平成28年度高額レセプトの医療費20億2,942万円は平成26年度18億2,153万円より2億789万円増加している。

### 年度別 高額レセプトの件数及び医療費

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
A	レセプト件数(件)	335,810	330,678	317,572
B	高額レセプト件数(件)	1,860	2,147	2,047
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.6%	0.6%
C	医療費(円) ※	6,366,103,350	6,690,026,890	6,316,221,780
D	高額レセプトの医療費(円) ※	1,821,529,980	2,169,494,280	2,029,415,140
E	その他レセプトの医療費(円) ※	4,544,573,370	4,520,532,610	4,286,806,640
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	28.6%	32.4%	32.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

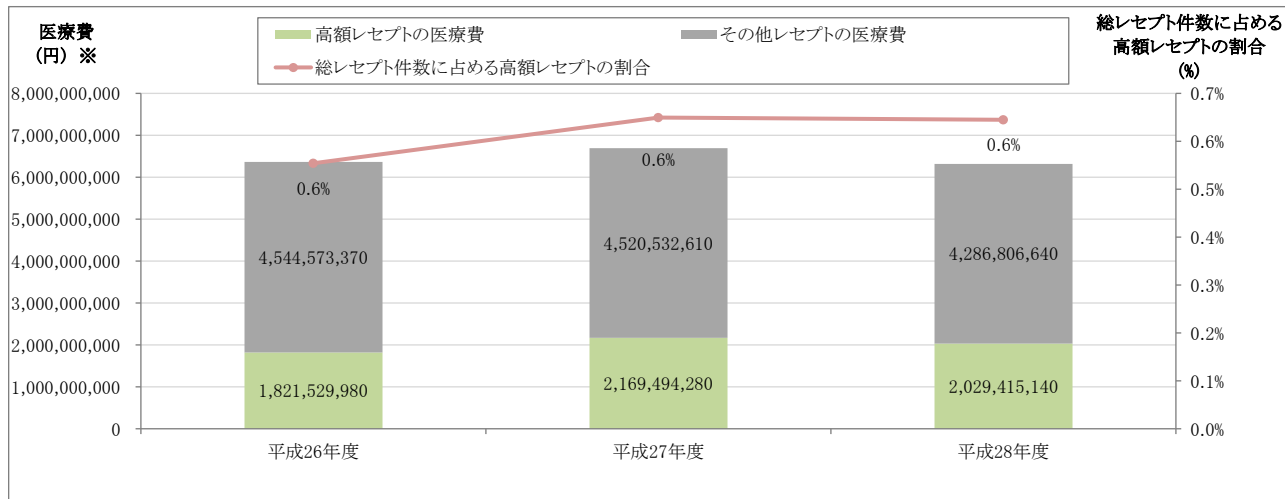
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

### 年度別 高額レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

## ②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後に、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を入院、入院外で集計をした。患者一人あたりの医療費が高額な疾病は、「白血病」「脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群」「その他の理由による保健サービスの利用者」となった。

### 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人あたりの医療費順)

順位	中分類名	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人あたりの 医療費(円) ※
				入院	入院外	合計	
1	白血病	急性骨髄性白血病, 慢性リンパ性白血病	2	17,387,700	1,481,930	18,869,630	9,434,815
2	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	10	77,160,080	0	77,160,080	7,716,008
3	その他の理由による保健サービスの利用者	胃瘻造設状態, 気管切開術後, 腎移植後	3	19,280,860	1,864,710	21,145,570	7,048,523
4	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 急性腎不全	36	100,370,240	152,587,240	252,957,480	7,026,597
5	その他の血液及び血管系の疾患並びに免疫機構の障害	特発性血小板減少性紫斑病, 血友病A, 低ガンマグロブリン血症	4	4,753,040	21,265,740	26,018,780	6,504,695
6	腸管感染症	細菌性腸炎	1	3,919,850	1,771,040	5,690,890	5,690,890
7	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫, 血管免疫芽球形T細胞リンパ腫, びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	8	34,844,050	9,892,140	44,736,190	5,592,024
8	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	尋常性乾癬, 皮脂欠乏症	2	7,693,010	3,361,230	11,054,240	5,527,120
9	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	ダンディ・ウォーカー症候群	1	4,865,870	128,590	4,994,460	4,994,460
10	てんかん	てんかん, 難治性てんかん, てんかん重積状態	9	40,217,810	1,302,200	41,520,010	4,613,334
11	その他の呼吸器系の疾患	誤嚥性肺炎, 自然気胸, 肺線維症	16	59,598,910	12,371,960	71,970,870	4,498,179
12	くも膜下出血	くも膜下出血, IC-PC動脈瘤破裂によるくも膜下出血, 中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	6	25,680,120	867,800	26,547,920	4,424,653
13	その他の循環器系の疾患	急性大動脈解離StanfordA, 腹部大動脈瘤, 肺塞栓症	18	68,532,910	10,597,610	79,130,520	4,396,140
14	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	18	6,696,530	71,443,580	78,140,110	4,341,117
15	妊娠及び胎児発育に関連する障害	極低出生体重児, 低出生体重児	2	7,533,430	1,033,980	8,567,410	4,283,705
16	その他の神経系の疾患	筋萎縮性側索硬化症, 視神経脊髄炎, 脊髄小脳変性症	18	67,498,950	7,720,110	75,219,060	4,178,837
17	その他の脳血管疾患	未破裂脳動脈瘤, 内頸動脈後交通動脈分岐部動脈瘤, 内頸動脈閉塞症	4	11,784,910	4,277,390	16,062,300	4,015,575
18	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	1	3,934,340	0	3,934,340	3,934,340
19	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 上葉肺癌, 下葉肺癌	30	64,536,050	50,437,410	114,973,460	3,832,449
20	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 盲腸癌, 上行結腸癌	25	45,863,850	44,005,850	89,869,700	3,594,788

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人あたりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人あたり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者一人あたりの医療費上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人あたりの医療費順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成26年度	1	喘息	気管支喘息	1	8,086,680
	2	その他の理由による保健サービスの利用者	気管切開術後, 腎移植後	2	7,798,030
	3	皮膚炎及び湿疹	アトピー性皮膚炎	1	7,549,060
	4	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	1	7,425,780
	5	白血病	急性骨髄性白血病, 急性リンパ性白血病, 慢性骨髄性白血病	3	7,369,313
平成27年度	1	白血病	急性骨髄性白血病, 急性前骨髄球性白血病, 急性白血病	4	11,447,098
	2	その他の理由による保健サービスの利用者	胃瘻造設状態, 気管切開術後	3	8,430,200
	3	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	上部心臓型総肺静脈還流異常症, 腎盂尿管移行部狭窄, 硬軟口蓋裂	3	8,321,253
	4	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	1	7,624,860
	5	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 急性尿細管壊死	36	6,577,741
平成28年度	1	白血病	急性骨髄性白血病, 慢性リンパ性白血病	2	9,434,815
	2	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	10	7,716,008
	3	その他の理由による保健サービスの利用者	胃瘻造設状態, 気管切開術後, 腎移植後	3	7,048,523
	4	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 急性腎不全	36	7,026,597
	5	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	特発性血小板減少性紫斑病, 血友病A, 低ガンマグロブリン血症	4	6,504,695

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人あたりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人あたり医療費。

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示す。患者数が多い疾病は、「その他の悪性新生物<腫瘍>」「その他の心疾患」「虚血性心疾患」等である。

### 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	中分類名	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
				入院	入院外	合計	
1	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 脾頭部癌	87	158,747,410	134,474,010	293,221,420	3,370,361
2	その他の心疾患	心房細動, うっ血性心不全, 発作性心房細動	52	125,733,710	46,690,340	172,424,050	3,315,847
3	虚血性心疾患	労作性狭心症, 不安定狭心症, 急性前壁中隔心筋梗塞	48	76,557,880	18,374,250	94,932,130	1,977,753
4	骨折	大腿骨頸部骨折, 大腿骨転子部骨折, 転子下骨折	38	69,588,410	13,037,620	82,626,030	2,174,369
5	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫, 骨髄異形成症候群, 下垂体腺腫	36	88,050,260	30,441,910	118,492,170	3,291,449
5	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 急性腎不全	36	100,370,240	152,587,240	252,957,480	7,026,597
7	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺腺癌, 上葉肺癌, 下葉肺腺癌	30	64,536,050	50,437,410	114,973,460	3,832,449
7	その他の消化器系の疾患	単径ヘルニア, 潰瘍性大腸炎・全大腸炎型, 便秘症	30	40,877,170	9,778,300	50,655,470	1,688,516
9	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調症様状態, 非定型精神病	29	72,155,630	10,973,970	83,129,600	2,866,538
10	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 盲腸癌, 上行結腸癌	25	45,863,850	44,005,850	89,869,700	3,594,788
10	脳梗塞	アテローム血栓性脳梗塞, 血栓性脳梗塞, 心原性脳塞栓症	25	67,958,210	3,955,310	71,913,520	2,876,541
10	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頸椎症性脊髄症, 変形性頸椎症	25	44,033,850	12,158,010	56,191,860	2,247,674
13	関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症, 原発性膝関節症	24	51,883,660	6,628,980	58,512,640	2,438,027
14	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳房上外側部乳癌, 乳癌, 乳房上内側部乳癌	23	20,896,830	40,003,890	60,900,720	2,647,857
14	胆石症及び胆のう炎	胆石性胆のう炎, 総胆管結石性胆管炎, 胆石性急性胆のう炎	23	23,804,680	8,052,090	31,856,770	1,385,077
16	その他の眼及び付属器の疾患	網膜前膜, 増殖性硝子体網膜症, 裂孔性網膜剥離	21	16,442,130	5,804,670	22,246,800	1,059,371
17	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 噴門癌, 胃癌	19	34,441,820	15,160,500	49,602,320	2,610,648
17	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌, 直腸癌術後再発, 直腸S状部結腸癌	19	41,706,390	14,369,360	56,075,750	2,951,355
19	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	18	6,696,530	71,443,580	78,140,110	4,341,117
19	その他の神経系の疾患	筋萎縮性側索硬化症, 視神経脊髄炎, 脊髄小脳変性症	18	67,498,950	7,720,110	75,219,060	4,178,837

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人あたりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人あたり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者数上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成26年度	1	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 膵頭部癌	69	3,267,337
	2	骨折	大腿骨頸部骨折, 大腿骨転子部骨折, 上腕骨近位端骨折	54	2,483,356
	3	その他の消化器系の疾患	鼠径ヘルニア, 外鼠径ヘルニア, 術後癒着性イレウス	51	1,958,775
	4	虚血性心疾患	労作性狭心症, 不安定狭心症, 急性前壁中隔心筋梗塞	44	2,478,311
	5	その他の心疾患	うっ血性心不全, 心房細動, 心房頻拍	42	4,085,372
平成27年度	1	その他の悪性新生物<腫瘍>	膵頭部癌, 多発性骨髄腫, 前立腺癌	67	3,410,828
	2	その他の心疾患	うっ血性心不全, 心房細動, 持続性心房細動	59	3,513,287
	3	虚血性心疾患	労作性狭心症, 急性下壁心筋梗塞, 不安定狭心症	52	2,423,734
	3	骨折	大腿骨頸部骨折, 橈骨遠位端骨折, 脛骨高原骨折	52	2,170,288
	5	その他の消化器系の疾患	鼠径ヘルニア, 術後癒着性イレウス, 急性虫垂炎	43	1,602,244
平成28年度	1	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 膵頭部癌	87	3,370,361
	2	その他の心疾患	心房細動, うっ血性心不全, 発作性心房細動	52	3,315,847
	3	虚血性心疾患	労作性狭心症, 不安定狭心症, 急性前壁中隔心筋梗塞	48	1,977,753
	4	骨折	大腿骨頸部骨折, 大腿骨転子部骨折, 転子下骨折	38	2,174,369
	5	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫, 骨髄異形成症候群, 下垂体腺腫	36	3,291,449
	5	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 急性腎不全	36	7,026,597

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人あたりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人あたり医療費。

### (3) 疾病別医療費

#### ① 大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数の算出を行った。「新生物<腫瘍>」は医療費合計の15.2%、「内分泌、栄養及び代謝疾患」は医療費合計の9.6%と高い割合を占めている。

#### 大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	186,319,188	3.0%	11	22,178	12	5,614	9	33,188	16
II. 新生物<腫瘍>	951,737,009	15.2%	2	21,926	13	4,872	10	195,348	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	60,303,743	1.0%	15	8,243	15	1,796	16	33,577	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	599,891,590	9.6%	3	112,062	1	8,896	3	67,434	9
V. 精神及び行動の障害	368,831,114	5.9%	8	29,902	9	2,617	14	140,937	3
VI. 神経系の疾患	305,872,314	4.9%	9	46,429	6	4,199	12	72,844	8
VII. 眼及び付属器の疾患	260,068,649	4.2%	10	34,591	7	7,440	5	34,955	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	27,772,678	0.4%	17	6,094	17	1,933	15	14,368	20
IX. 循環器系の疾患	997,639,452	16.0%	1	108,963	2	8,058	4	123,807	4
X. 呼吸器系の疾患	399,986,222	6.4%	7	67,244	4	11,014	1	36,316	13
X I. 消化器系の疾患 ※	525,922,895	8.4%	5	93,289	3	9,730	2	54,052	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	147,336,171	2.4%	13	34,427	8	6,243	7	23,600	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	533,078,485	8.5%	4	65,307	5	7,283	6	73,195	7
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	489,396,415	7.8%	6	24,807	11	4,326	11	113,129	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	15,782,666	0.3%	18	469	20	154	20	102,485	6
X VI. 周産期に発生した病態 ※	14,601,008	0.2%	19	62	21	30	21	486,700	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	13,329,554	0.2%	20	1,534	19	422	19	31,587	17
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	128,504,680	2.1%	14	25,780	10	5,807	8	22,129	19
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	179,378,134	2.9%	12	11,377	14	3,432	13	52,266	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	40,118,854	0.6%	16	6,526	16	1,035	17	38,762	12
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	2,486,679	0.0%	21	1,689	18	466	18	5,336	21
合計	6,248,357,500			312,276		19,585		319,038	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、「男性」においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…A B O因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠2週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、集計できない。そのため他統計と一致しない。

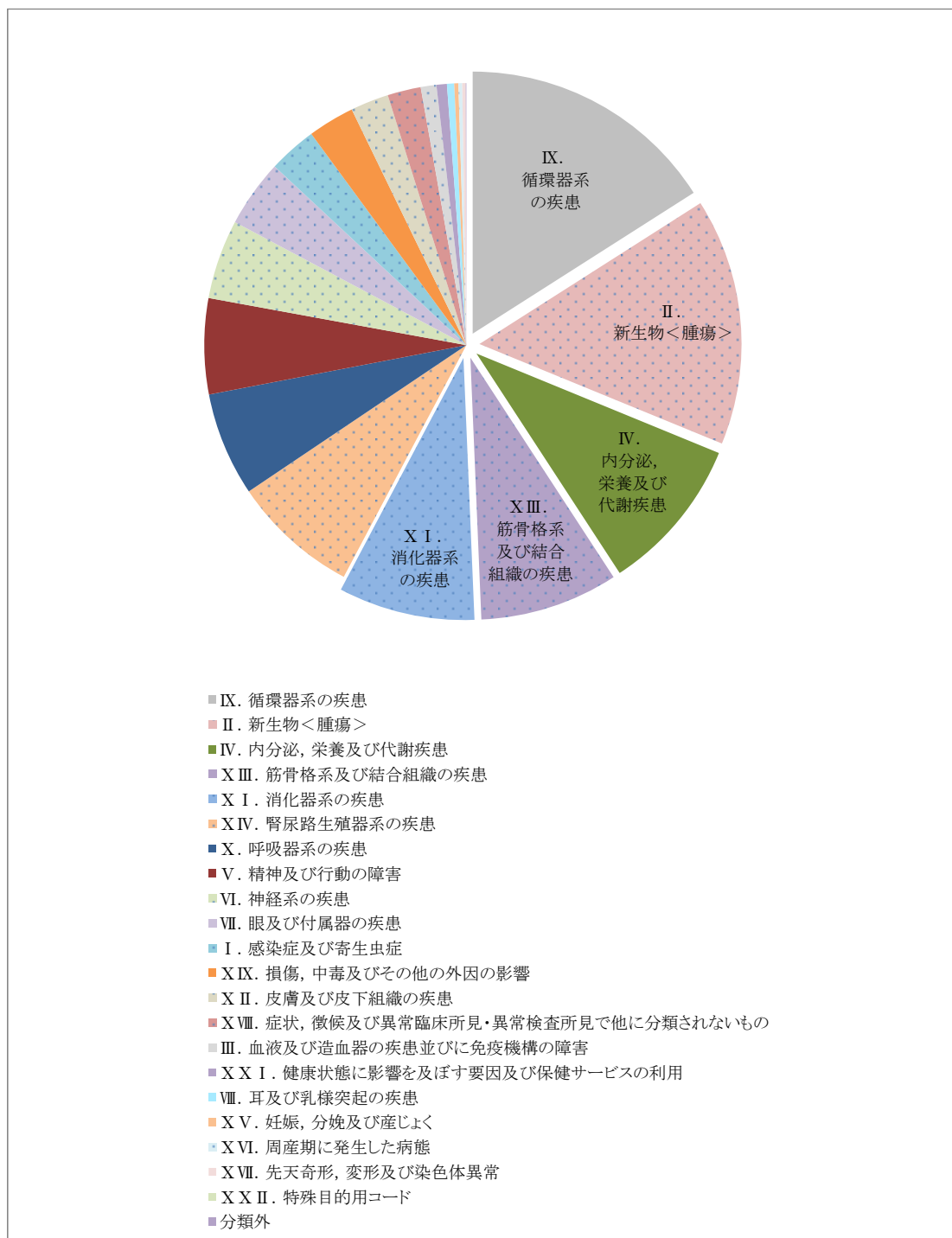
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。



疾病項目別医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「消化器系の疾患」の医療費で過半数を占める。

## 疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示す。

年度別 大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	158,934,864	2.5%	12	269,761,722	4.1%	10	186,447,585	3.0%	11
II. 新生物<腫瘍>	821,011,431	13.0%	2	933,163,567	14.1%	2	952,754,336	15.2%	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	65,858,717	1.0%	15	70,830,985	1.1%	15	61,907,822	1.0%	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	636,594,326	10.1%	3	644,761,575	9.7%	3	600,041,059	9.6%	3
V. 精神及び行動の障害	368,434,140	5.8%	8	380,265,323	5.7%	8	370,175,883	5.9%	8
VI. 神経系の疾患	312,639,990	5.0%	9	336,971,609	5.1%	9	305,911,284	4.9%	9
VII. 眼及び付属器の疾患	281,525,287	4.5%	10	267,209,960	4.0%	11	260,081,364	4.2%	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	34,377,715	0.5%	16	34,177,914	0.5%	17	27,764,352	0.4%	17
IX. 循環器系の疾患	1,078,782,227	17.1%	1	1,108,159,155	16.7%	1	1,000,982,784	16.0%	1
X. 呼吸器系の疾患	389,016,958	6.2%	7	413,133,752	6.2%	7	400,229,394	6.4%	7
X I. 消化器系の疾患 ※	571,982,183	9.1%	4	556,816,603	8.4%	4	526,077,013	8.4%	5
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	142,760,757	2.3%	14	143,056,768	2.2%	14	147,414,835	2.4%	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	532,434,335	8.4%	5	535,034,843	8.1%	5	533,098,021	8.5%	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	477,964,003	7.6%	6	475,173,535	7.2%	6	490,510,424	7.8%	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	17,920,854	0.3%	18	16,033,895	0.2%	19	15,782,666	0.3%	18
X VI. 周産期に発生した病態 ※	7,799,094	0.1%	19	16,506,247	0.2%	18	14,604,131	0.2%	19
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	7,385,355	0.1%	20	13,974,233	0.2%	20	13,708,323	0.2%	20
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	158,129,400	2.5%	13	161,895,984	2.4%	13	128,630,223	2.1%	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	221,230,330	3.5%	11	203,253,854	3.1%	12	180,278,163	2.9%	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	23,856,727	0.4%	17	34,960,606	0.5%	16	40,432,451	0.6%	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外	2,843,177	0.0%	21	3,119,160	0.0%	21	2,113,129	0.0%	21
合計	6,311,481,870			6,618,261,290			6,258,945,240		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

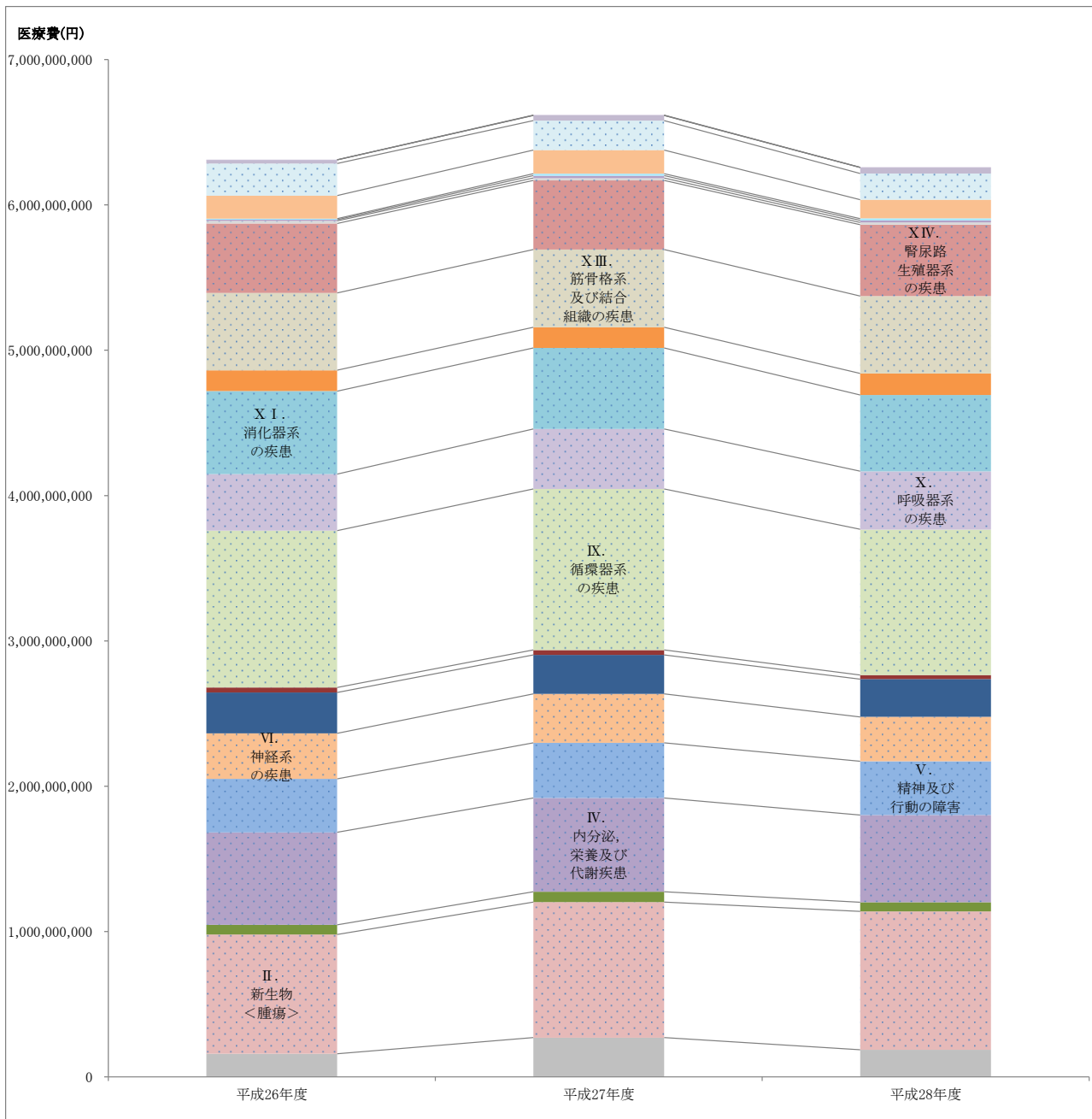
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、集計できない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、「男性」においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠2週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

# 年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

## ②中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人あたりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

### 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目	医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	腎不全	361,565,748	5.8%	497
2	その他の悪性新生物<腫瘍>	328,824,426	5.3%	2,237
3	高血圧性疾患	288,082,874	4.6%	5,991
4	糖尿病	271,172,559	4.3%	5,826
5	その他の心疾患	262,433,998	4.2%	2,797
6	その他の消化器系の疾患	254,633,074	4.1%	5,396
7	脂質異常症	209,825,273	3.4%	5,880
8	その他の神経系の疾患	162,110,635	2.6%	3,733
9	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	161,641,574	2.6%	735
10	その他の眼及び付属器の疾患	141,479,290	2.3%	4,628

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目	医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	高血圧性疾患	288,082,874	5,991	30.6%
2	脂質異常症	209,825,273	5,880	30.0%
3	糖尿病	271,172,559	5,826	29.7%
4	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	128,504,680	5,807	29.7%
5	屈折及び調節の障害	35,891,518	5,518	28.2%
6	その他の消化器系の疾患	254,633,074	5,396	27.6%
7	胃炎及び十二指腸炎	90,578,326	5,219	26.6%
8	アレルギー性鼻炎	62,786,741	5,163	26.4%
9	その他の急性上気道感染症	38,533,034	5,043	25.7%
10	皮膚炎及び湿疹	68,596,680	4,692	24.0%

データ化範囲(分析対象2)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人あたりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	中分類疾病項目	医療費 (円) ※	患者数 (人)	患者一人当たりの 医療費(円)
1	妊娠及び胎児発育に関連する障害	7,969,239	10	796,924
2	腎不全	361,565,748	497	727,496
3	白血病	21,837,451	39	559,935
4	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	47,053,450	120	392,112
5	悪性リンパ腫	40,947,786	125	327,582
6	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	107,233,660	363	295,410
7	その他の周産期に発生した病態	6,631,768	24	276,324
8	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	161,641,574	735	219,921
9	乳房の悪性新生物<腫瘍>	76,260,922	360	211,836
10	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	30,579,445	149	205,231

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示す。

### 年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成26年度	1	高血圧性疾患	352,370,088	5.6%	6,336
	2	腎不全	344,423,642	5.5%	472
	3	その他の悪性新生物<腫瘍>	289,594,708	4.6%	2,153
	4	その他の消化器系の疾患	284,911,470	4.5%	5,570
	5	糖尿病	269,662,292	4.3%	5,843
	6	その他の心疾患	237,179,516	3.8%	2,836
	7	脂質異常症	232,017,614	3.7%	6,164
	8	その他の神経系の疾患	185,376,844	2.9%	3,987
	9	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	162,081,210	2.6%	724
	10	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	158,129,400	2.5%	5,892
平成27年度	1	腎不全	347,999,790	5.3%	457
	2	高血圧性疾患	332,362,544	5.0%	6,203
	3	その他の悪性新生物<腫瘍>	295,541,011	4.5%	2,174
	4	その他の心疾患	294,174,284	4.4%	2,851
	5	糖尿病	277,377,289	4.2%	5,952
	6	その他の消化器系の疾患	273,813,753	4.1%	5,596
	7	脂質異常症	228,568,088	3.5%	6,083
	8	その他の神経系の疾患	171,619,034	2.6%	3,887
	9	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	171,130,051	2.6%	723
	10	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	161,895,984	2.4%	5,907
平成28年度	1	腎不全	362,271,237	5.8%	499
	2	その他の悪性新生物<腫瘍>	328,859,374	5.3%	2,238
	3	高血圧性疾患	288,170,403	4.6%	5,992
	4	糖尿病	271,205,342	4.3%	5,827
	5	その他の心疾患	265,278,304	4.2%	2,800
	6	その他の消化器系の疾患	254,689,492	4.1%	5,398
	7	脂質異常症	209,891,865	3.4%	5,880
	8	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	162,131,211	2.6%	735
	9	その他の神経系の疾患	162,130,056	2.6%	3,733
	10	その他の眼及び付属器の疾患	141,499,910	2.3%	4,630

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者数上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成26年度	1	高血圧性疾患	352,370,088	6,336	29.7%
	2	脂質異常症	232,017,614	6,164	28.9%
	3	屈折及び調節の障害	40,431,464	6,029	28.3%
	4	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	158,129,400	5,892	27.6%
	5	糖尿病	269,662,292	5,843	27.4%
	6	胃炎及び十二指腸炎	101,188,257	5,685	26.6%
	7	その他の消化器系の疾患	284,911,470	5,570	26.1%
	8	アレルギー性鼻炎	68,483,702	5,427	25.4%
	9	その他の眼及び付属器の疾患	146,019,119	5,015	23.5%
	10	皮膚炎及び湿疹	79,690,230	5,004	23.4%
平成27年度	1	高血圧性疾患	332,362,544	6,203	29.9%
	2	脂質異常症	228,568,088	6,083	29.4%
	3	糖尿病	277,377,289	5,952	28.7%
	4	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	161,895,984	5,907	28.5%
	5	屈折及び調節の障害	36,858,443	5,768	27.8%
	6	その他の消化器系の疾患	273,813,753	5,596	27.0%
	7	胃炎及び十二指腸炎	100,755,404	5,522	26.7%
	8	アレルギー性鼻炎	70,220,697	5,455	26.3%
	9	その他の急性上気道感染症	42,016,209	5,317	25.7%
	10	その他の眼及び付属器の疾患	138,725,808	4,877	23.5%
平成28年度	1	高血圧性疾患	288,170,403	5,992	30.6%
	2	脂質異常症	209,891,865	5,880	30.0%
	3	糖尿病	271,205,342	5,827	29.7%
	4	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	128,630,223	5,812	29.7%
	5	屈折及び調節の障害	35,884,271	5,517	28.2%
	6	その他の消化器系の疾患	254,689,492	5,398	27.6%
	7	胃炎及び十二指腸炎	90,584,342	5,219	26.6%
	8	アレルギー性鼻炎	62,828,381	5,164	26.4%
	9	その他の急性上気道感染症	38,539,441	5,042	25.7%
	10	皮膚炎及び湿疹	68,653,490	4,695	24.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人あたりの医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人あたりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成26年度	1	腎不全	344,423,642	472	729,711
	2	白血病	24,543,388	38	645,879
	3	くも膜下出血	39,742,041	76	522,922
	4	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	37,432,423	107	349,836
	5	悪性リンパ腫	31,127,686	107	290,913
	6	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	84,891,984	335	253,409
	7	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	162,081,210	724	223,869
	8	脳内出血	45,313,484	203	223,219
	9	乳房の悪性新生物<腫瘍>	69,021,698	318	217,049
	10	その他の周産期に発生した病態	5,887,658	34	173,166
平成27年度	1	白血病	46,765,708	41	1,140,627
	2	腎不全	347,999,790	457	761,488
	3	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	72,083,537	111	649,401
	4	妊娠及び胎児発育に関連する障害	6,150,975	15	410,065
	5	その他の周産期に発生した病態	10,355,271	26	398,280
	6	悪性リンパ腫	38,921,508	126	308,901
	7	脳内出血	59,023,682	198	298,099
	8	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	38,550,103	152	253,619
	9	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	171,130,051	723	236,694
	10	くも膜下出血	16,956,867	78	217,396
平成28年度	1	妊娠及び胎児発育に関連する障害	7,969,239	10	796,924
	2	腎不全	362,271,237	499	725,994
	3	白血病	21,837,451	39	559,935
	4	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	47,053,450	120	392,112
	5	悪性リンパ腫	40,947,786	125	327,582
	6	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	107,327,988	363	295,669
	7	その他の周産期に発生した病態	6,634,892	25	265,396
	8	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	162,131,211	735	220,587
	9	乳房の悪性新生物<腫瘍>	77,120,992	360	214,225
	10	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	30,579,445	149	205,231

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。



中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※		
	6,258,945,240			312,406			19,588		

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	186,447,585	3.0%		22,210	7.1%		5,622	28.7%		33,164	
腸管感染症	19,009,950	0.3%	69	5,935	1.9%	46	2,108	10.8%	30	9,018	108
結核	3,022,474	0.0%	105	675	0.2%	96	184	0.9%	93	16,426	89
主として性的伝播様式をとる感染症	5,681,617	0.1%	95	1,617	0.5%	79	762	3.9%	60	7,456	111
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	15,109,742	0.2%	77	3,417	1.1%	59	936	4.8%	53	16,143	90
ウイルス性肝炎	87,611,386	1.4%	25	4,005	1.3%	55	1,029	5.3%	50	85,142	27
その他のウイルス性疾患	17,163,350	0.3%	72	614	0.2%	99	259	1.3%	88	66,268	34
真菌症	15,972,961	0.3%	73	4,988	1.6%	52	1,214	6.2%	40	13,157	99
感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	658,380	0.0%	116	92	0.0%	114	19	0.1%	116	34,652	59
その他の感染症及び寄生虫症	22,217,726	0.4%	63	4,123	1.3%	53	1,403	7.2%	37	15,836	93
II. 新生物<腫瘍>	952,754,336	15.2%		21,940	7.0%		4,874	24.9%		195,477	
胃の悪性新生物<腫瘍>	55,278,505	0.9%	38	2,378	0.8%	68	662	3.4%	63	83,502	29
結腸の悪性新生物<腫瘍>	100,458,839	1.6%	17	3,058	1.0%	62	953	4.9%	52	105,413	17
直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	47,053,450	0.8%	42	701	0.2%	95	120	0.6%	101	392,112	4
肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	26,535,986	0.4%	59	1,274	0.4%	87	317	1.6%	85	83,710	28
気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	107,327,988	1.7%	15	1,474	0.5%	82	363	1.9%	83	295,669	6
乳房の悪性新生物<腫瘍>	77,120,992	1.2%	27	2,116	0.7%	71	360	1.8%	84	214,225	9
子宮の悪性新生物<腫瘍>	18,406,523	0.3%	71	973	0.3%	93	399	2.0%	79	46,132	46
悪性リンパ腫	40,947,786	0.7%	44	628	0.2%	98	125	0.6%	100	327,582	5
白血病	21,837,451	0.3%	65	342	0.1%	107	39	0.2%	111	559,935	3
その他の悪性新生物<腫瘍>	328,859,374	5.3%	2	9,671	3.1%	34	2,238	11.4%	25	146,943	13
良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	128,927,443	2.1%	12	5,309	1.7%	49	2,128	10.9%	29	60,586	36
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	61,907,822	1.0%		8,257	2.6%		1,797	9.2%		34,451	
貧血	22,183,259	0.4%	64	5,972	1.9%	45	1,275	6.5%	39	17,399	85
その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	39,724,563	0.6%	46	2,937	0.9%	63	770	3.9%	58	51,590	41
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	600,041,059	9.6%		112,097	35.9%		8,899	45.4%		67,428	
甲状腺障害	30,966,687	0.5%	54	8,894	2.8%	36	1,514	7.7%	36	20,454	75
糖尿病	271,205,342	4.3%	4	60,441	19.3%	3	5,827	29.7%	3	46,543	45
脂質異常症	209,891,865	3.4%	7	80,339	25.7%	2	5,880	30.0%	2	35,696	55
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	87,977,165	1.4%	23	20,847	6.7%	13	2,527	12.9%	21	34,815	58
V. 精神及び行動の障害	370,175,883	5.9%		29,939	9.6%		2,618	13.4%		141,396	
血管性及び詳細不明の認知症	5,007,163	0.1%	99	190	0.1%	110	51	0.3%	109	98,180	23
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	11,020,697	0.2%	83	652	0.2%	97	90	0.5%	107	122,452	14
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	162,131,211	2.6%	8	10,977	3.5%	31	735	3.8%	61	220,587	8

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け を表示する。

総合計	医療費総計(円)		レセプト件数 ※			患者数 ※		
	6,258,945,240		312,406			19,588		

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	101,859,923	1.6%	16	14,554	4.7%	26	1,083	5.5%	46	94,053	25
神経性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	49,115,908	0.8%	40	16,865	5.4%	22	1,638	8.4%	35	29,985	66
知的障害<精神遅滞>	4,387,870	0.1%	103	187	0.1%	111	80	0.4%	108	54,848	40
その他の精神及び行動の障害	36,653,111	0.6%	50	2,458	0.8%	67	372	1.9%	81	98,530	22
VI. 神経系の疾患	305,911,284	4.9%		46,455	14.9%		4,199	21.4%		72,853	
パーキンソン病	30,032,937	0.5%	56	3,633	1.2%	57	255	1.3%	89	117,776	16
アルツハイマー病	13,517,126	0.2%	81	1,263	0.4%	88	137	0.7%	97	98,665	21
てんかん	67,341,123	1.1%	33	6,379	2.0%	42	550	2.8%	67	122,438	15
脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	30,579,445	0.5%	55	1,142	0.4%	89	149	0.8%	96	205,231	10
自律神経系の障害	2,310,596	0.0%	109	991	0.3%	92	117	0.6%	102	19,749	78
その他の神経系の疾患	162,130,056	2.6%	9	40,159	12.9%	6	3,733	19.1%	12	43,432	48
VII. 眼及び付属器の疾患	260,081,364	4.2%		34,598	11.1%		7,439	38.0%		34,962	
結膜炎	27,283,731	0.4%	58	16,249	5.2%	25	3,712	19.0%	13	7,350	112
白内障	55,413,452	0.9%	37	11,393	3.6%	28	2,082	10.6%	31	26,615	70
屈折及び調節の障害	35,884,271	0.6%	51	23,268	7.4%	11	5,517	28.2%	5	6,504	114
その他の眼及び付属器の疾患	141,499,910	2.3%	10	23,966	7.7%	10	4,630	23.6%	11	30,562	63
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	27,764,352	0.4%		6,092	2.0%		1,932	9.9%		14,371	
外耳炎	2,289,061	0.0%	110	1,275	0.4%	86	467	2.4%	73	4,902	117
その他の外耳疾患	5,675,599	0.1%	96	2,057	0.7%	72	905	4.6%	55	6,271	115
中耳炎	5,826,437	0.1%	94	1,521	0.5%	81	433	2.2%	77	13,456	97
その他の中耳及び乳様突起の疾患	1,426,944	0.0%	114	370	0.1%	106	109	0.6%	103	13,091	100
メニエール病	2,883,363	0.0%	106	850	0.3%	94	182	0.9%	94	15,843	92
その他の内耳疾患	4,664,030	0.1%	102	556	0.2%	100	210	1.1%	91	22,210	73
その他の耳疾患	4,998,919	0.1%	100	1,326	0.4%	85	518	2.6%	68	9,650	107
IX. 循環器系の疾患	1,000,982,784	16.0%		109,005	34.9%		8,062	41.2%		124,161	
高血圧性疾患	288,170,403	4.6%	3	91,832	29.4%	1	5,992	30.6%	1	48,093	42
虚血性心疾患	132,679,194	2.1%	11	17,645	5.6%	18	1,693	8.6%	34	78,369	31
その他の心疾患	265,278,304	4.2%	5	21,729	7.0%	12	2,800	14.3%	18	94,742	24
くも膜下出血	19,452,717	0.3%	68	382	0.1%	104	98	0.5%	105	198,497	11
脳内出血	42,602,082	0.7%	43	1,463	0.5%	84	219	1.1%	90	194,530	12
脳梗塞	87,600,321	1.4%	26	9,772	3.1%	32	1,157	5.9%	42	75,713	32
脳動脈硬化(症)	322,518	0.0%	118	115	0.0%	112	18	0.1%	117	17,918	83
その他の脳血管疾患	34,916,907	0.6%	52	7,832	2.5%	38	1,139	5.8%	43	30,656	62
動脈硬化(症)	28,798,007	0.5%	57	5,255	1.7%	50	913	4.7%	54	31,542	61
低血圧(症)	1,852,915	0.0%	112	372	0.1%	105	51	0.3%	109	36,332	54
その他の循環器系の疾患	99,309,417	1.6%	18	6,118	2.0%	43	1,201	6.1%	41	82,689	30
X. 呼吸器系の疾患	400,229,394	6.4%		67,288	21.5%		11,017	56.2%		36,328	
急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	5,133,885	0.1%	97	3,076	1.0%	61	1,096	5.6%	45	4,684	120
急性咽頭炎及び急性扁桃炎	13,591,903	0.2%	79	6,937	2.2%	40	2,561	13.1%	20	5,307	116
その他の急性上気道感染症	38,539,441	0.6%	48	17,431	5.6%	20	5,042	25.7%	9	7,644	110

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)		レセプト件数 ※			患者数 ※		
	6,258,945,240		312,406			19,588		

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
肺炎	50,839,731	0.8%	39	2,292	0.7%	69	805	4.1%	57	63,155	35
急性気管支炎及び急性細気管支炎	23,370,090	0.4%	61	9,674	3.1%	33	3,272	16.7%	15	7,142	113
アレルギー性鼻炎	62,828,381	1.0%	35	25,371	8.1%	8	5,164	26.4%	8	12,167	104
慢性副鼻腔炎	7,298,119	0.1%	90	1,635	0.5%	78	374	1.9%	80	19,514	79
急性又は慢性と明示されない気管支炎	8,711,342	0.1%	86	3,527	1.1%	58	1,110	5.7%	44	7,848	109
慢性閉塞性肺疾患	26,024,530	0.4%	60	6,107	2.0%	44	644	3.3%	66	40,411	51
喘息	71,934,009	1.1%	31	17,352	5.6%	21	2,054	10.5%	32	35,021	57
その他の呼吸器系の疾患	91,957,963	1.5%	20	8,820	2.8%	37	2,899	14.8%	17	31,721	60
X I . 消化器系の疾患	526,077,013	8.4%		93,330	29.9%		9,732	49.7%		54,056	
う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
歯肉炎及び歯周疾患	351,846	0.0%	117	22	0.0%	119	12	0.1%	118	29,320	67
その他の歯及び歯の支持組織の障害	135,609	0.0%	119	50	0.0%	116	28	0.1%	113	4,843	118
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	61,385,372	1.0%	36	19,151	6.1%	16	2,236	11.4%	27	27,453	69
胃炎及び十二指腸炎	90,584,342	1.4%	22	40,601	13.0%	5	5,219	26.6%	7	17,357	86
痔核	7,798,905	0.1%	89	2,031	0.7%	74	450	2.3%	76	17,331	87
アルコール性肝疾患	6,313,542	0.1%	93	1,006	0.3%	91	108	0.6%	104	58,459	37
慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	4,863,736	0.1%	101	2,924	0.9%	64	295	1.5%	86	16,487	88
肝硬変(アルコール性のものを除く)	5,129,393	0.1%	98	1,598	0.5%	80	274	1.4%	87	18,720	81
その他の肝疾患	39,294,212	0.6%	47	17,543	5.6%	19	3,172	16.2%	16	12,388	102
胆石症及び胆のう炎	36,663,889	0.6%	49	2,486	0.8%	66	661	3.4%	64	55,467	39
膵疾患	18,866,676	0.3%	70	2,035	0.7%	73	498	2.5%	71	37,885	53
その他の消化器系の疾患	254,689,492	4.1%	6	44,671	14.3%	4	5,398	27.6%	6	47,182	44
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患	147,414,835	2.4%		34,455	11.0%		6,244	31.9%		23,609	
皮膚及び皮下組織の感染症	13,036,600	0.2%	82	3,110	1.0%	60	1,054	5.4%	48	12,369	103
皮膚炎及び湿疹	68,653,490	1.1%	32	24,915	8.0%	9	4,695	24.0%	10	14,623	96
その他の皮膚及び皮下組織の疾患	65,724,745	1.1%	34	16,776	5.4%	23	3,397	17.3%	14	19,348	80
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患	533,098,021	8.5%		65,318	20.9%		7,284	37.2%		73,188	
炎症性多発性関節障害	73,845,034	1.2%	29	11,027	3.5%	30	1,291	6.6%	38	57,200	38
関節症	95,014,838	1.5%	19	19,469	6.2%	15	2,237	11.4%	26	42,474	50
脊椎障害(脊椎症を含む)	107,417,530	1.7%	14	18,854	6.0%	17	2,453	12.5%	23	43,790	47
椎間板障害	13,563,543	0.2%	80	4,076	1.3%	54	768	3.9%	59	17,661	84
頸腕症候群	8,282,663	0.1%	87	5,692	1.8%	47	730	3.7%	62	11,346	105
腰痛症及び坐骨神経痛	33,222,848	0.5%	53	16,503	5.3%	24	2,229	11.4%	28	14,905	95
その他の脊柱障害	15,125,485	0.2%	76	2,133	0.7%	70	504	2.6%	69	30,011	65
肩の傷害<損傷>	19,688,692	0.3%	67	8,902	2.8%	35	1,070	5.5%	47	18,401	82
骨の密度及び構造の障害	91,408,264	1.5%	21	19,760	6.3%	14	1,921	9.8%	33	47,584	43
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	75,529,124	1.2%	28	12,228	3.9%	27	2,510	12.8%	22	30,091	64

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	6,258,945,240	312,406	19,588

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	490,510,424	7.8%		24,830	7.9%		4,328	22.1%		113,334	
糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	20,446,533	0.3%	66	1,894	0.6%	75	481	2.5%	72	42,508	49
腎不全	362,271,237	5.8%	1	5,021	1.6%	51	499	2.5%	70	725,994	2
尿路結石症	10,033,927	0.2%	85	1,117	0.4%	90	364	1.9%	82	27,566	68
その他の腎尿路系の疾患	48,794,759	0.8%	41	11,382	3.6%	29	2,389	12.2%	24	20,425	76
前立腺肥大(症)	23,166,270	0.4%	62	5,677	1.8%	48	653	3.3%	65	35,477	56
その他の男性生殖器の疾患	2,557,154	0.0%	108	387	0.1%	103	126	0.6%	99	20,295	77
月経障害及び閉経周辺期障害	7,284,655	0.1%	91	1,893	0.6%	76	457	2.3%	75	15,940	91
乳房及びその他の女性生殖器の疾患	15,955,889	0.3%	74	2,589	0.8%	65	1,053	5.4%	49	15,153	94
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	15,782,666	0.3%		469	0.2%		154	0.8%		102,485	
流産	1,735,749	0.0%	113	60	0.0%	115	26	0.1%	114	66,760	33
妊娠高血圧症候群	7,000	0.0%	122	4	0.0%	122	4	0.0%	122	1,750	122
単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
その他の妊娠, 分娩及び産じょく	14,039,917	0.2%	78	411	0.1%	102	136	0.7%	98	103,235	18
XVI. 周産期に発生した病態	14,604,131	0.2%		63	0.0%		31	0.2%		471,101	
妊娠及び胎児発育に関連する障害	7,969,239	0.1%	88	24	0.0%	118	10	0.1%	119	796,924	1
その他の周産期に発生した病態	6,634,892	0.1%	92	45	0.0%	117	25	0.1%	115	265,396	7
XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	13,708,323	0.2%		1,542	0.5%		426	2.2%		32,179	
心臓の先天奇形	3,288,034	0.1%	104	106	0.0%	113	35	0.2%	112	93,944	26
その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	10,420,288	0.2%	84	1,465	0.5%	83	401	2.0%	78	25,986	72
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	128,630,223	2.1%		25,802	8.3%		5,812	29.7%		22,132	
症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	128,630,223	2.1%	13	25,802	8.3%	7	5,812	29.7%	4	22,132	74
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	180,278,163	2.9%		11,385	3.6%		3,434	17.5%		52,498	
骨折	87,926,340	1.4%	24	3,830	1.2%	56	870	4.4%	56	101,065	20
頭蓋内損傷及び内臓の損傷	15,710,120	0.3%	75	272	0.1%	108	154	0.8%	95	102,014	19
熱傷及び腐食	1,150,314	0.0%	115	216	0.1%	109	91	0.5%	106	12,641	101
中毒	2,689,809	0.0%	107	506	0.2%	101	202	1.0%	92	13,316	98
その他の損傷及びその他の外因の影響	72,801,579	1.2%	30	7,552	2.4%	39	2,741	14.0%	19	26,560	71
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	40,432,451	0.6%		6,534	2.1%		1,035	5.3%		39,065	
検査及び診査のための保健サービスの利用者	98,686	0.0%	120	17	0.0%	120	9	0.0%	120	10,965	106
予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	33,209	0.0%	121	8	0.0%	121	7	0.0%	121	4,744	119
歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	6,258,945,240	312,406	19,588

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
特定の処置(歯の補てつを除く)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
その他の理由による保健サービスの利用者	40,300,555	0.6%	45	6,509	2.1%	41	1,020	5.2%	51	39,510	52
XXII. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外	2,113,129	0.0%		1,685	0.5%		464	2.4%		4,554	
分類外	2,113,129	0.0%	111	1,685	0.5%	77	464	2.4%	74	4,554	121

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

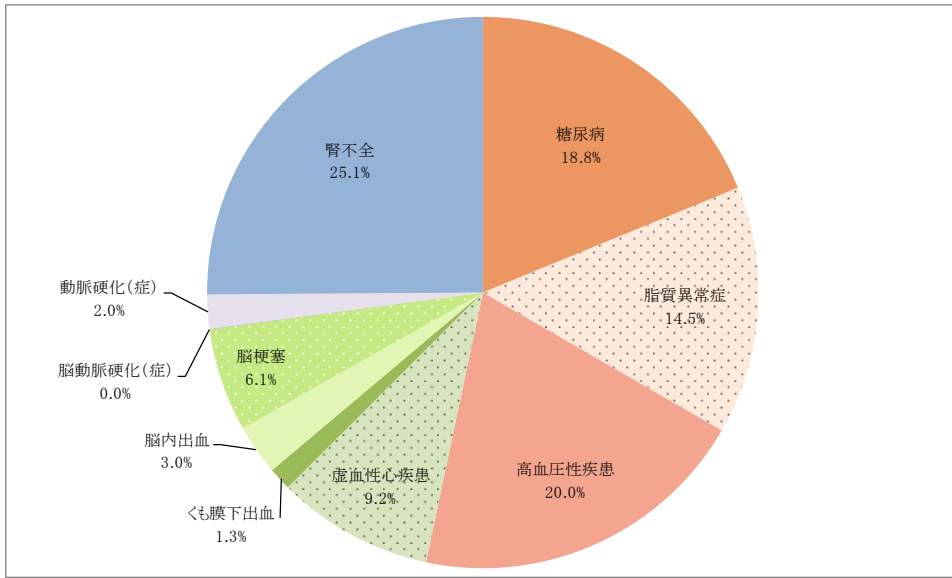
### ③生活習慣病に係る分析

平成28年4月診療分～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、生活習慣病の医療費及び患者数を算出した。糖尿病医療費は2億7,120万円、脂質異常症医療費は2億989万円、高血圧性疾患医療費は2億8,817万円となっている。

#### 生活習慣病医療費

疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%)	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
糖尿病	271,205,342	18.8%	5,827	46,543
脂質異常症	209,891,865	14.5%	5,880	35,696
高血圧性疾患	288,170,403	20.0%	5,992	48,093
虚血性心疾患	132,679,194	9.2%	1,693	78,369
くも膜下出血	19,452,717	1.3%	98	198,497
脳内出血	42,602,082	3.0%	219	194,530
脳梗塞	87,600,321	6.1%	1,157	75,713
脳動脈硬化(症)	322,518	0.0%	18	17,918
動脈硬化(症)	28,798,007	2.0%	913	31,542
腎不全	362,271,237	25.1%	499	725,994

#### 生活習慣病医療費構成



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成21年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成26年度から平成28年度における、生活習慣病医療費を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、糖尿病医療費2億7,121万円は、平成26年度2億6,966万円より155万円増加している。また、脂質異常症医療費2億989万円は、平成26年度2億3,202万円より2,213万円減少しており、高血圧性疾患医療費2億8,817万円は、平成26年度3億5,237万円より6,420万円減少している。

## 年度別 生活習慣病医療費

疾病分類(中分類)	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)
糖尿病	269,662,292	17.4%	277,377,289	17.8%	271,205,342	18.8%
脂質異常症	232,017,614	14.9%	228,568,088	14.6%	209,891,865	14.5%
高血圧性疾患	352,370,088	22.7%	332,362,544	21.3%	288,170,403	20.0%
虚血性心疾患	148,962,813	9.6%	157,834,533	10.1%	132,679,194	9.2%
くも膜下出血	39,742,041	2.6%	16,956,867	1.1%	19,452,717	1.3%
脳内出血	45,313,484	2.9%	59,023,682	3.8%	42,602,082	3.0%
脳梗塞	92,337,386	5.9%	115,799,090	7.4%	87,600,321	6.1%
脳動脈硬化(症)	310,561	0.0%	872,787	0.1%	322,518	0.0%
動脈硬化(症)	27,624,770	1.8%	24,600,173	1.6%	28,798,007	2.0%
腎不全	344,423,642	22.2%	347,999,790	22.3%	362,271,237	25.1%
合計	1,552,764,691		1,561,394,843		1,442,993,685	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

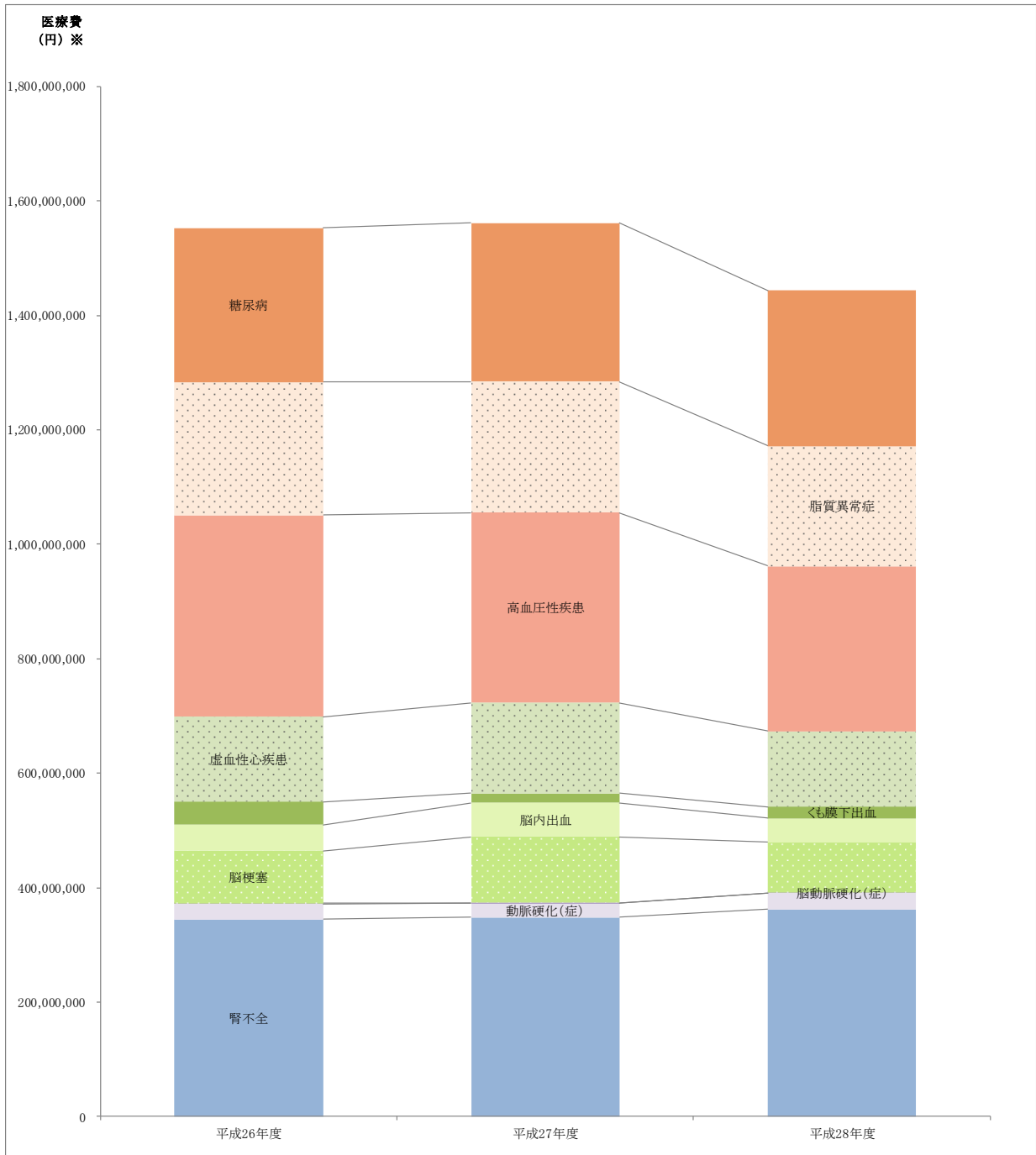
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、集計できない。そのため他統計と一致しない。

# 年度別 生活習慣病医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。



## 第3章 特定健康診査の実施状況

# 第3章 特定健康診査の実施状況

## 1. 特定健康診査の受診率

平成20年度から平成29年度における、特定健康診査の受診状況等は以下のとおりである。

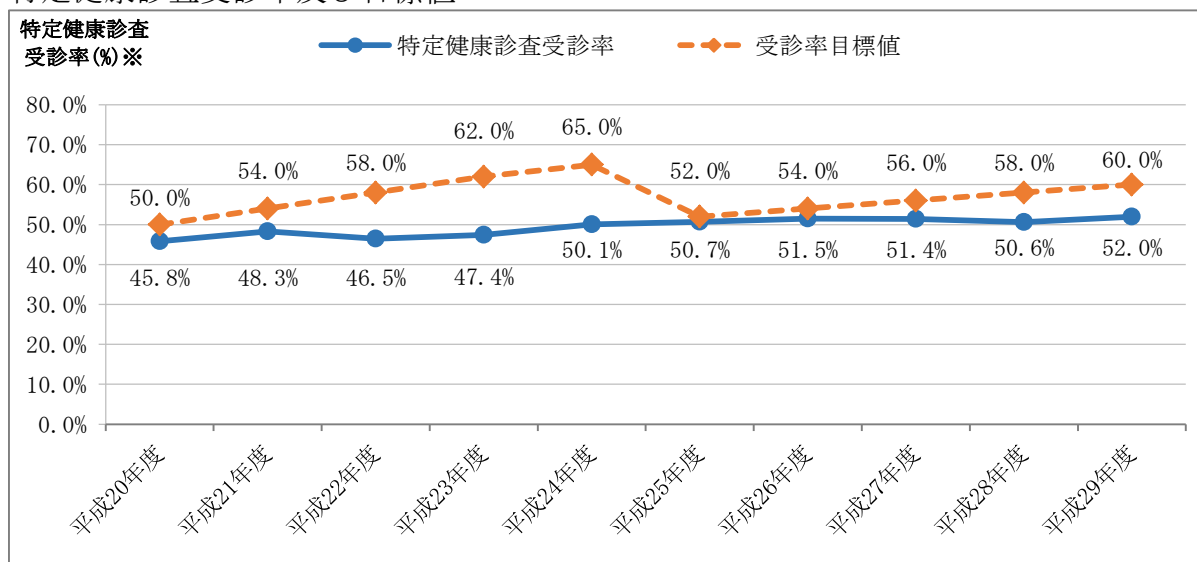
特定健康診査受診率及び目標値

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
特定健康診査対象者数(人)	16,865	17,434	17,550	17,459	17,387
特定健康診査受診者数(人)	7,727	8,424	8,159	8,280	8,706
特定健康診査受診率(%)※	45.8%	48.3%	46.5%	47.4%	50.1%
受診率目標値(%)	50.0%	54.0%	58.0%	62.0%	65.0%
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
特定健康診査対象者数(人)	17,281	17,229	16,769	15,753	14,706
特定健康診査受診者数(人)	8,763	8,871	8,622	7,974	7,647
特定健康診査受診率(%)※	50.7%	51.5%	51.4%	50.6%	52.0%
受診率目標値(%)	52.0%	54.0%	56.0%	58.0%	60.0%

特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は行政報告値。

※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合。

特定健康診査受診率及び目標値



特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は行政報告値。

※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合。

## 2. 特定健康診査等実施に係る主な取り組み

第2期特定健康診査等実施計画に基づき実施した、これまでの主な取り組みについて以下のとおり示す。

実施年度	取り組み	目的	概要	実施状況
平成25年度から平成29年度	啓発活動の強化	特定健康診査の受診率向上のため	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報やホームページ、コミュニティビジョン等により、啓発活動を実施する。</li> <li>・特定健康診査のポスターを市内の医療機関や掲示板等で掲示する。</li> <li>・健康づくり相談にて、チラシを配布し、参加者に特定健診の受診を促した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報（6月1日号、10月1日号）、ホームページ等にも掲載し、受診率の向上に努めた。</li> <li>・特定健康診査のポスターを市内の各医療機関等で掲示を行った。</li> <li>・6月実施の健康づくり相談にて、参加者に特定健診への積極的な受診を促した。</li> </ul>
平成25年度から平成29年度	未受診者への受診勧奨について	特定健康診査の受診率向上のため	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査未受診者に対し、勧奨はがきを送付する。</li> <li>・勧奨はがきの送付後に、送付対象者の特定健康診査の受診の有無の確認を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別勧奨はがきの送付数（平成28年度 8,564人）</li> <li>・個別勧奨はがきの送付後の受診者数（平成28年度 528人）</li> </ul>
平成27年度から平成29年度	受診環境の整備等について	特定健康診査の受診率向上のため	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診者の利便性等を向上させるため、小平市医師会及び武蔵村山市医師会との相互利用を開始した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小平市及び武蔵村山市との特定健康診査の相互利用を開始し、利便性の向上や受診をしやすい環境づくりを行った。</li> </ul>

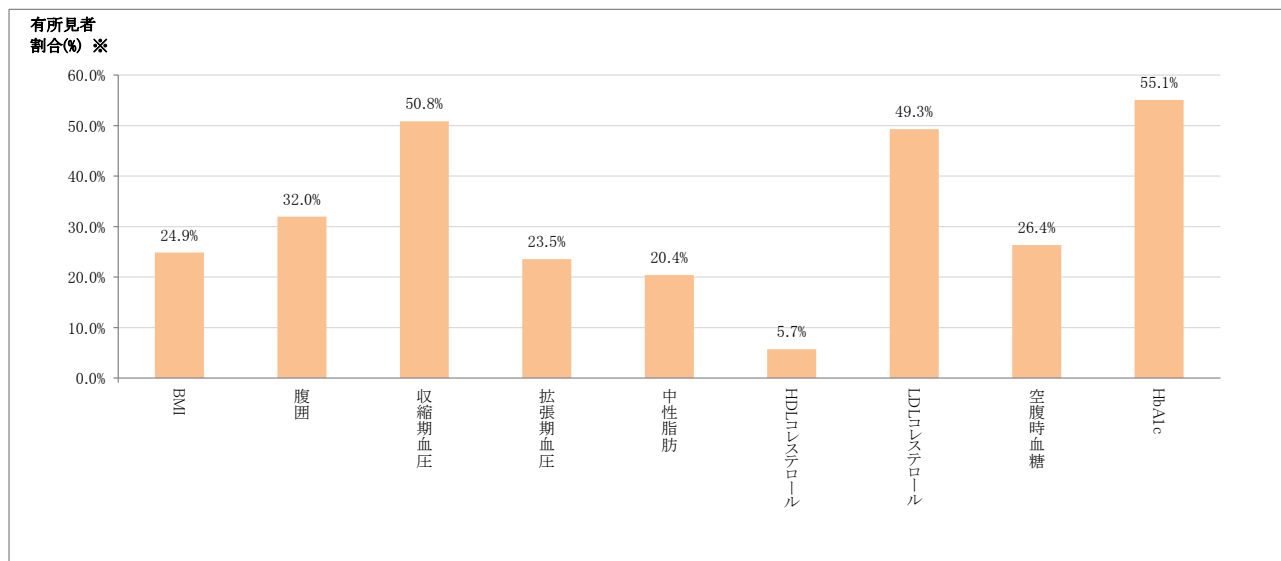
### 3. 特定健康診査の分析結果

特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

#### (1) 有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧		
対象者数(人) ※	7,969	7,967	7,974	7,974		
有所見者数(人) ※	1,981	2,546	4,053	1,876		
有所見者割合(%) ※	24.9%	32.0%	50.8%	23.5%		
	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c	
対象者数(人) ※	7,974	7,974	7,974	5,800	7,974	
有所見者数(人) ※	1,625	456	3,930	1,528	4,390	
有所見者割合(%) ※	20.4%	5.7%	49.3%	26.4%	55.1%	

#### 有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値 BMI: 25以上、腹囲: 男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧: 130mmHg以上、

拡張期血圧: 85mmHg以上、中性脂肪: 150mg/dl以上、HDLコレステロール: 39mg/dl以下、

LDLコレステロール: 120mg/dl以上、空腹時血糖値: 100mg/dl以上、HbA1c: 5.6%以上

平成26年度から平成28年度における、特定健康診査受診者の有所見者割合を年度別に示す。

## 年度別 有所見者割合

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
BMI	対象者数(人) ※	8,871	8,618	7,969
	有所見者数(人) ※	2,085	2,103	1,981
	有所見者割合(%) ※	23.5%	24.4%	24.9%
腹囲	対象者数(人) ※	8,871	8,618	7,967
	有所見者数(人) ※	2,696	2,718	2,546
	有所見者割合(%) ※	30.4%	31.5%	32.0%
収縮期血圧	対象者数(人) ※	8,871	8,622	7,974
	有所見者数(人) ※	4,351	4,370	4,053
	有所見者割合(%) ※	49.0%	50.7%	50.8%
拡張期血圧	対象者数(人) ※	8,871	8,622	7,974
	有所見者数(人) ※	1,873	2,043	1,876
	有所見者割合(%) ※	21.1%	23.7%	23.5%
中性脂肪	対象者数(人) ※	8,871	8,622	7,974
	有所見者数(人) ※	1,788	1,767	1,625
	有所見者割合(%) ※	20.2%	20.5%	20.4%
HDLコレステロール	対象者数(人) ※	8,871	8,622	7,974
	有所見者数(人) ※	465	429	456
	有所見者割合(%) ※	5.2%	5.0%	5.7%
LDLコレステロール	対象者数(人) ※	8,871	8,622	7,974
	有所見者数(人) ※	4,590	4,417	3,930
	有所見者割合(%) ※	51.7%	51.2%	49.3%
空腹時血糖	対象者数(人) ※	6,175	6,141	5,800
	有所見者数(人) ※	1,704	1,560	1,529
	有所見者割合(%) ※	27.6%	25.4%	26.4%
HbA1c	対象者数(人) ※	8,871	8,622	7,974
	有所見者数(人) ※	4,368	4,400	4,390
	有所見者割合(%) ※	49.2%	51.0%	55.1%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

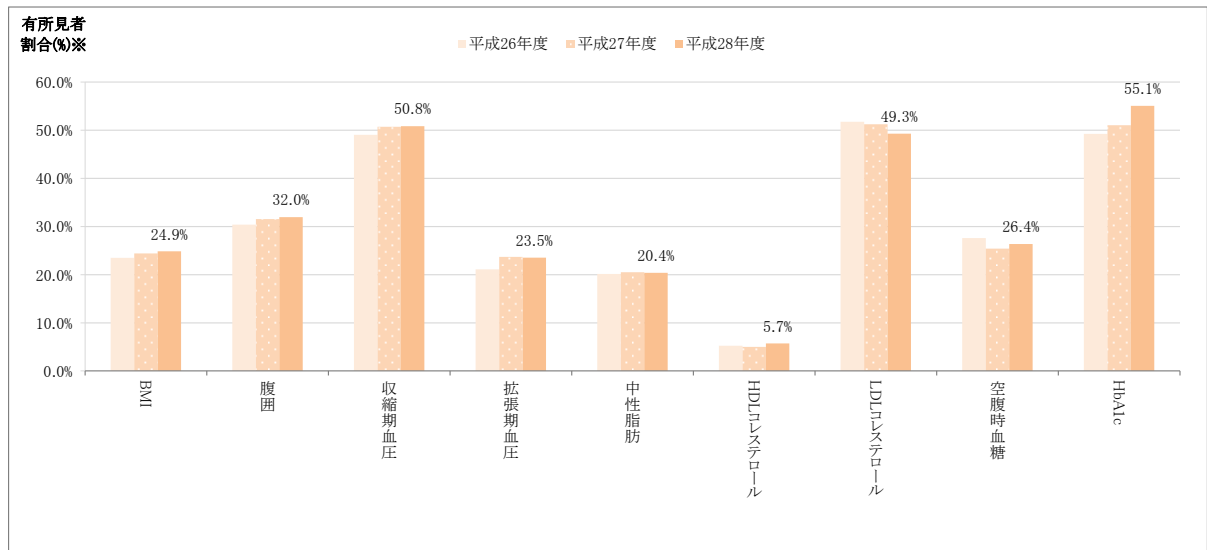
保健指導判定値

BMI: 2.5以上、腹囲: 男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧: 130mmHg以上、拡張期血圧: 85mmHg以上。

中性脂肪: 150mg/dl以上、HDLコレステロール: 39mg/dl以下、LDLコレステロール: 120mg/dl以上。

空腹時血糖値: 100mg/dl以上、HbA1c: 5.6%以上。

## 年度別 有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI: 25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上。

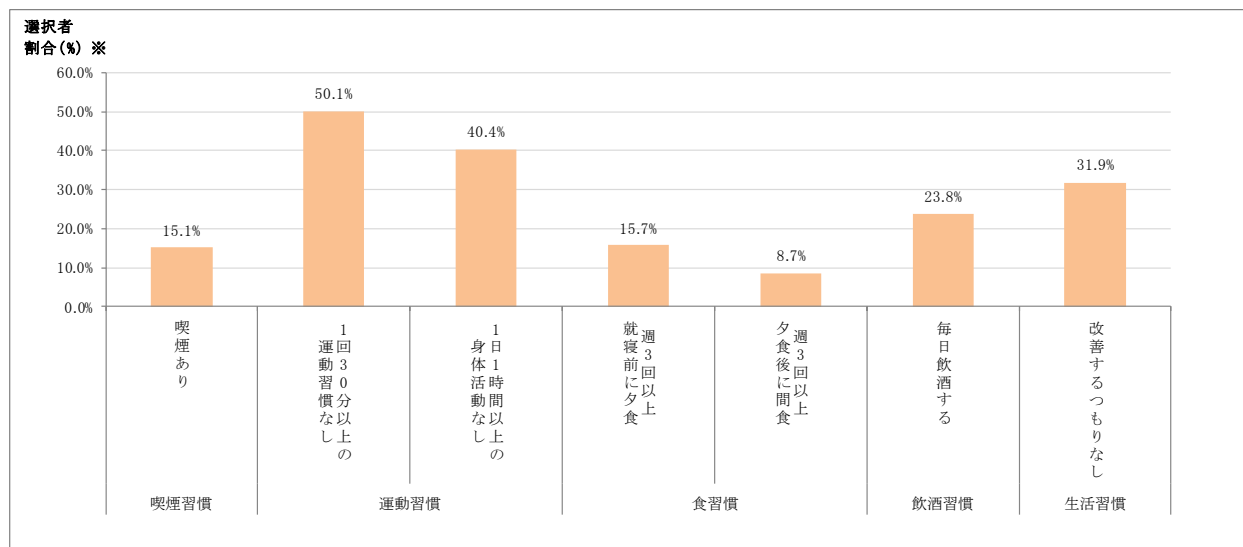
中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上。

空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上。

## (2) 質問別回答状況

	喫煙習慣	運動習慣		
質問の選択肢	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし	
質問回答者数(人) ※	7,974	7,972	7,971	
選択者数(人) ※	1,206	3,991	3,220	
選択者割合(%) ※	15.1%	50.1%	40.4%	
	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
質問の選択肢	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	7,966	7,969	7,968	7,963
選択者数(人) ※	1,252	690	1,895	2,537
選択者割合(%) ※	15.7%	8.7%	23.8%	31.9%

### 質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夕食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

平成26年度から平成28年度における、特定健康診査受診者の喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する質問別回答状況を年度別に示す。

### 年度・質問別 回答状況

			平成26年度	平成27年度	平成28年度
喫煙習慣	喫煙あり	質問回答者数(人) ※	8,871	8,622	7,974
		選択者数(人) ※	1,345	1,323	1,206
		選択者割合(%) ※	15.2%	15.3%	15.1%
運動習慣	1回30分以上の運動習慣なし	質問回答者数(人) ※	8,869	8,620	7,973
		選択者数(人) ※	4,454	4,255	3,991
		選択者割合(%) ※	50.2%	49.4%	50.1%
	1日1時間以上の身体活動なし	質問回答者数(人) ※	8,869	8,619	7,972
		選択者数(人) ※	3,740	3,573	3,220
		選択者割合(%) ※	42.2%	41.5%	40.4%
食習慣	週3回以上就寝前に夕食	質問回答者数(人) ※	8,867	8,620	7,967
		選択者数(人) ※	1,461	1,352	1,247
		選択者割合(%) ※	16.5%	15.7%	15.7%
	週3回以上夕食後に間食	質問回答者数(人) ※	8,865	8,618	7,970
		選択者数(人) ※	705	749	690
		選択者割合(%) ※	8.0%	8.7%	8.7%
飲酒習慣	毎日飲酒する	質問回答者数(人) ※	8,868	8,618	7,969
		選択者数(人) ※	2,147	2,087	1,896
		選択者割合(%) ※	24.2%	24.2%	23.8%
生活習慣	改善するつもりなし	質問回答者数(人) ※	8,863	8,614	7,963
		選択者数(人) ※	2,795	2,795	2,537
		選択者割合(%) ※	31.5%	31.3%	31.9%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

喫煙あり

…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

1回30分以上の運動習慣なし

…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

1日1時間以上の身体活動なし

…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

週3回以上就寝前に夕食

…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

週3回以上夕食後に間食

…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

毎日飲酒する

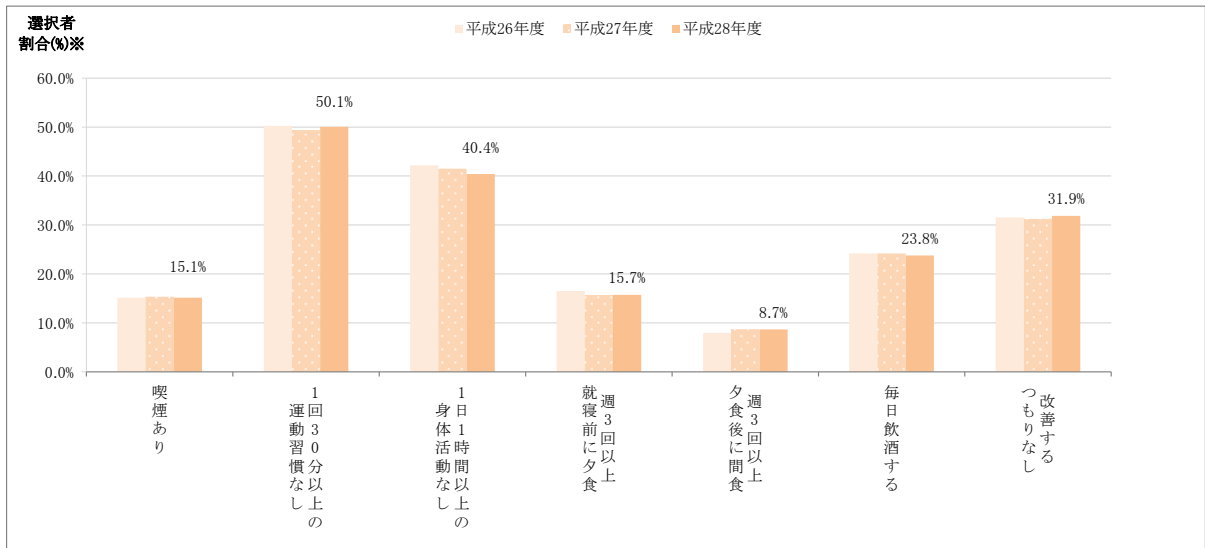
…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。

改善するつもりなし

…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。



## 年度・質問別 選択者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

### 質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

## 4. 特定健康診査実施状況に基づく課題と対策

課題と対策は以下のとおりである。

### ◆特定健康診査受診率

#### 【特定健康診査受診率における課題】

特定健康診査の受診率は、50%付近で推移しており、横ばいの状況が続いている。第2期特定健康診査等実施計画の平成29年度到達目標値である60%には届いていない。

毎年、男女ともに40代から50代の働き盛り世代の受診者数が少なくなっている。

#### 【特定健康診査受診率における対策】

受診率の向上を図るために、引き続き、市報やHP等による積極的な周知を実施する必要がある。また、受診をしやすい環境整備や未受診者に対する効果的な勧奨方法について新たな取り組みを検討し、実施をすることで受診率向上につなげていく。

### ◆有所見者の状況

#### 【有所見者の状況における課題】

平成28年度の特定健康診査受診者の有所見割合をみるとHbA1c、収縮期血圧、LDLコレステロールが高い結果となった。

#### 【有所見者の状況における対策】

特定健康診査の結果を詳細に分析・活用していくことで、被保険者の生活習慣等を見直すきっかけの提供や生活習慣病を予防する保健事業について実施をしていく必要がある。

### ◆質問票の回答状況

#### 【質問票の回答状況における課題】

平成28年度の特定健康診査受診者の回答状況を確認すると、喫煙習慣では「喫煙あり」15.1%、飲酒習慣では「毎日飲酒する」23.8%、生活習慣では「改善するつもりなし」31.9%となり、現在の生活習慣の改善を図っていく意識が低い結果となった。

#### 【質問票の回答状況における対策】

重症化に至る前の段階で、自らが健康状況について自覚し、生活習慣の改善の必要性を理解した上で行動変容の変化を促す取組について検討し、実施をしていく必要がある。

## 第4章 特定保健指導の実施状況

# 第4章 特定保健指導の実施状況

## 1. 特定保健指導の実施率

平成20年度から平成29年度における、特定保健指導の実施状況等は以下のとおりである。

### 特定保健指導実施率及び目標値

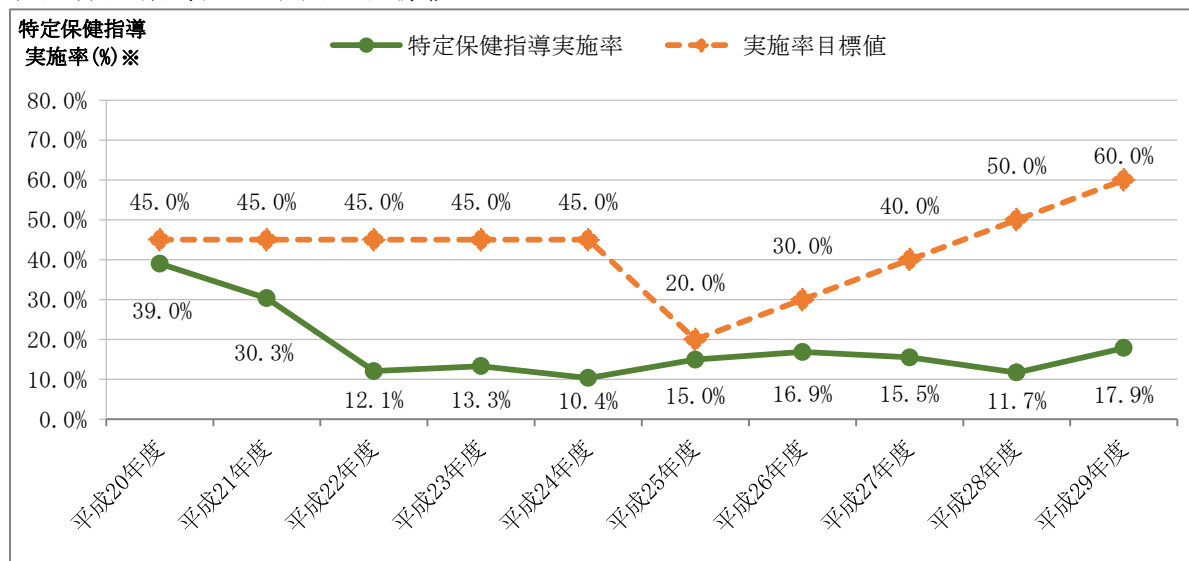
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
特定保健指導対象者数(人)	1,120	1,022	911	952	1,021
特定保健指導利用者数(人)	437	310	110	127	106
特定保健指導実施者数(人)※	437	310	110	127	106
特定保健指導実施率(%)※	39.0%	30.3%	12.1%	13.3%	10.4%
実施率目標値(%)	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
特定保健指導対象者数(人)	995	930	877	784	721
特定保健指導利用者数(人)	149	157	136	92	129
特定保健指導実施者数(人)※	149	157	136	92	129
特定保健指導実施率(%)※	15.0%	16.9%	15.5%	11.7%	17.9%
実施率目標値(%)	20.0%	30.0%	40.0%	50.0%	60.0%

特定保健指導対象者数、特定保健指導利用者数、特定保健指導実施者数、特定保健指導実施率は行政報告値。

※特定保健指導実施者数…特定保健指導を終了した人数。

※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導実施者の割合。

### 特定保健指導実施率及び目標値



特定保健指導実施率は行政報告値。

※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導実施者の割合。

支援レベル別の特定保健指導の実施状況等は以下のとおりである。

### 積極的支援実施状況

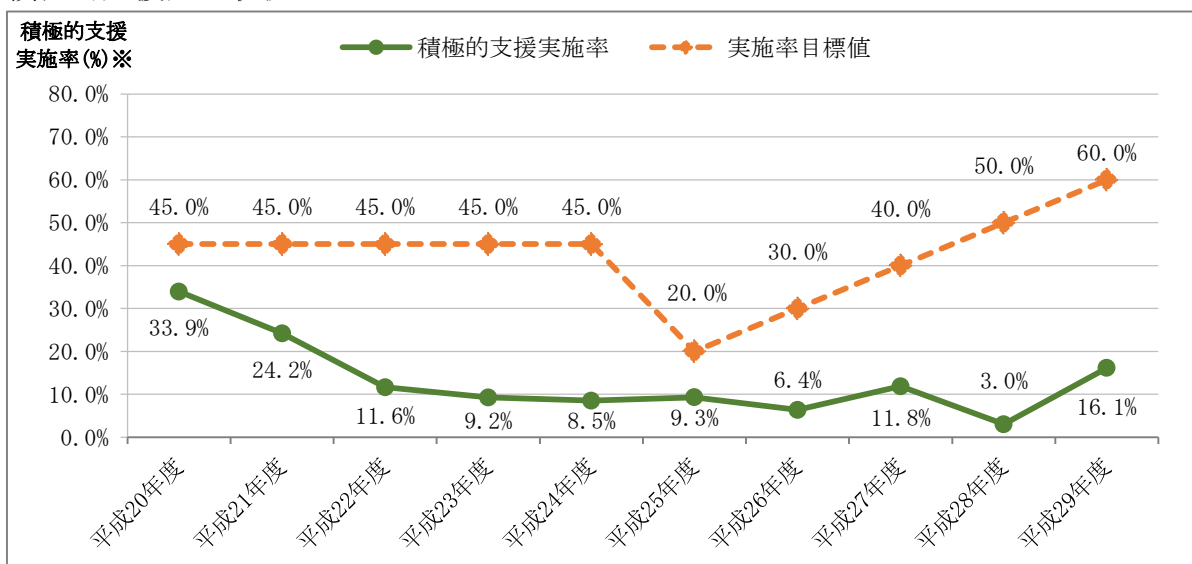
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
積極的支援対象者数(人)	277	252	224	238	282
積極的支援利用者数(人)	94	61	26	22	24
積極的支援実施者数(人)※	94	61	26	22	24
積極的支援実施率(%)※	33.9%	24.2%	11.6%	9.2%	8.5%
実施率目標値(%)	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
積極的支援対象者数(人)	269	236	211	166	180
積極的支援利用者数(人)	25	15	25	5	29
積極的支援実施者数(人)※	25	15	25	5	29
積極的支援実施率(%)※	9.3%	6.4%	11.8%	3.0%	16.1%
実施率目標値(%)	20.0%	30.0%	40.0%	50.0%	60.0%

積極的支援対象者数、積極的支援利用者数、積極的支援実施者数、積極的支援実施率は行政報告値。

※積極的支援実施者数…積極的支援を終了した人数。

※積極的支援実施率…積極的支援対象者に対する積極的支援実施者の割合。

### 積極的支援実施状況



積極的支援実施率は行政報告値。

※積極的支援実施率…積極的支援対象者に対する積極的支援実施者の割合。

## 動機付け支援実施状況

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
動機付け支援対象者数(人)	843	770	687	714	739
動機付け支援利用者数(人)	343	249	84	105	82
動機付け支援実施者数(人)※	343	249	84	105	82
動機付け支援実施率(%)※	40.7%	32.3%	12.2%	14.7%	11.1%
実施率目標値(%)	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%

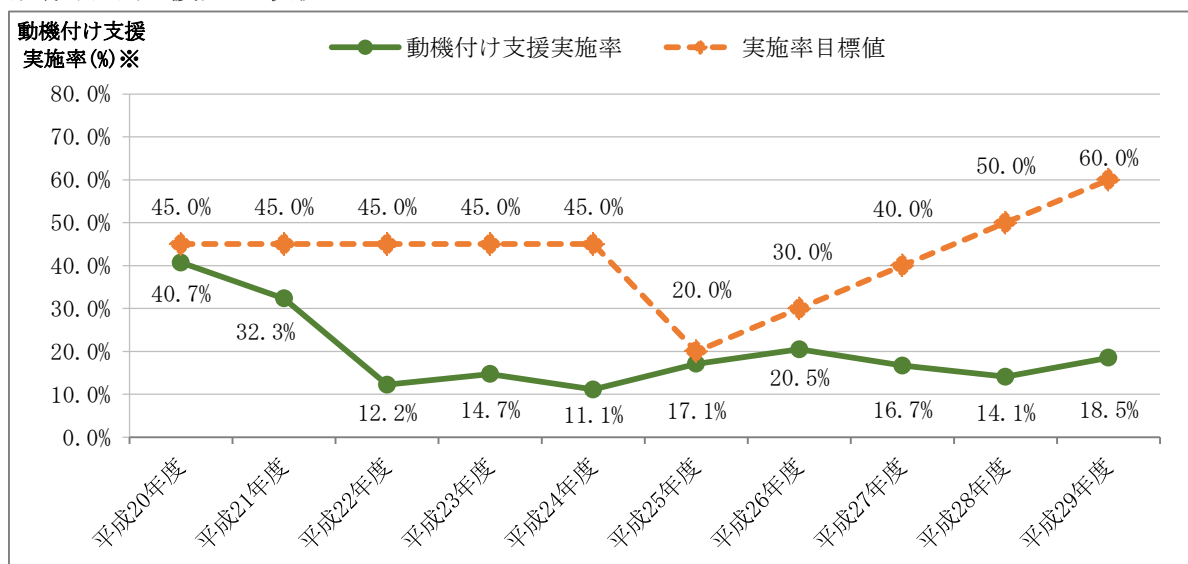
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
動機付け支援対象者数(人)	726	694	666	618	541
動機付け支援利用者数(人)	124	142	111	87	100
動機付け支援実施者数(人)※	124	142	111	87	100
動機付け支援実施率(%)※	17.1%	20.5%	16.7%	14.1%	18.5%
実施率目標値(%)	20.0%	30.0%	40.0%	50.0%	60.0%

動機付け支援対象者数、動機付け支援利用者数、動機付け支援実施者数、動機付け支援実施率は行政報告値。

※動機付け支援実施者数…動機付け支援を終了した人数。

※動機付け支援実施率…動機付け支援対象者に対する動機付け支援実施者の割合。

## 動機付け支援実施状況



動機付け支援実施率は行政報告値。

※動機付け支援実施率…動機付け支援対象者に対する動機付け支援実施者の割合。

## 2. 特定保健指導実施に係る主な取り組み

特定保健指導に係る、これまでの主な取り組みを以下に示す。

実施年度	取り組み	目的	概要	実施状況
平成25年度から平成29年度	未受診者への利用勧奨について	特定保健指導の利用率の向上のため	・特定保健指導未利用者に対し、勧奨通知等を送付し、利用を促す。	・個別勧奨通知等の送付数 (平成28年度 557人)
平成25年度から平成29年度	生活習慣等の改善について	対象者の生活習慣等の改善を促すため	・対象者に対する発送物の中に、ウォーキングマップ等を入れることにより生活習慣等の改善を促す。	・継続的な運動習慣を身に付けていくことを目的として、特定保健指導の対象者にはウォーキングマップ等の送付を行った。

### 3. 特定保健指導の効果分析

特定保健指導の効果について、平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況より分析する。基準該当1,425人、予備群該当891人である。

#### メタボリックシンドローム該当状況

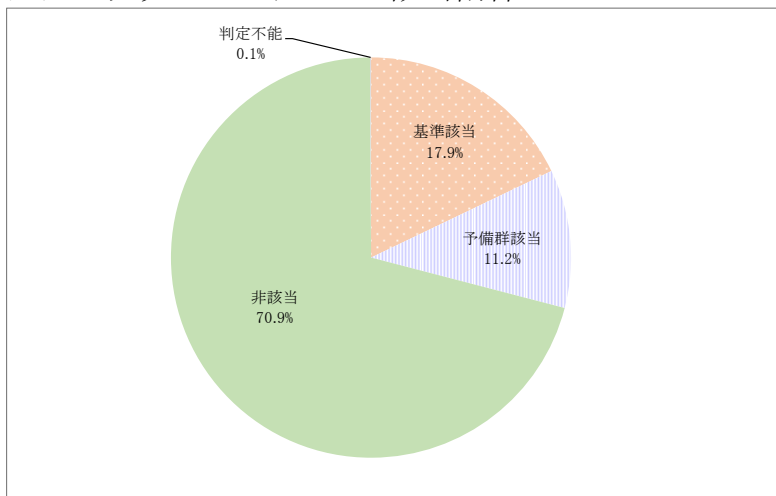
	特定健康診査受診者(人)	該当レベル			
		基準該当	予備群該当	非該当	判定不能
該当者数(人)	7,974	1,425	891	5,650	8
割合※(%)	-	17.9%	11.2%	70.9%	0.1%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

#### メタボリックシンドローム該当割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

#### ※メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク (①血糖 ②脂質 ③血圧)	該当状況
≥85cm (男性)	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
≥90cm (女性)	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

①血糖:空腹時血糖が110mg/dl以上

②脂質:中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧:収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上

※糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。



平成26年度から平成28年度における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を年度別に示す。平成28年度における基準該当及び予備群該当の割合は、平成26年度に比べ、上昇している。

### 年度別 メタボリックシンドローム該当状況

年度	健診受診者数(人)
平成26年度	8,871
平成27年度	8,622
平成28年度	7,974

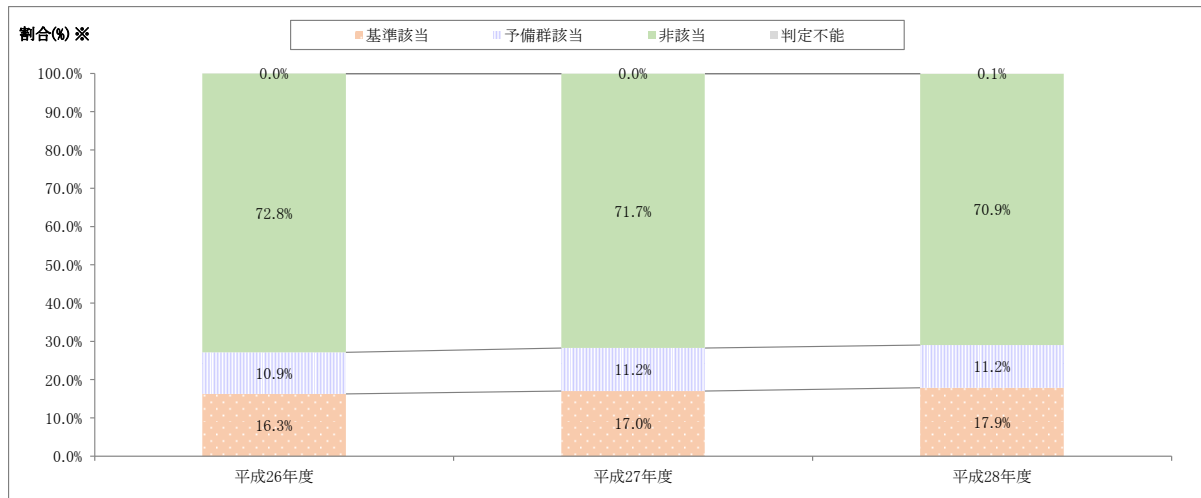
年度	基準該当		予備群該当		非該当		判定不能	
	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
平成26年度	1,442	16.3%	966	10.9%	6,460	72.8%	3	0.0%
平成27年度	1,469	17.0%	968	11.2%	6,181	71.7%	4	0.0%
平成28年度	1,425	17.9%	891	11.2%	5,650	70.9%	8	0.1%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

### 年度別 メタボリックシンドローム該当割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

## 4. 特定保健指導対象者の分析

### (1) 特定保健指導レベル該当状況

平成28年度特定健康診査受診者の特定保健指導該当状況は以下のとおりである。積極的支援対象者は166人、動機付け支援対象者は618人である。

積極的支援、動機づけ支援ともに60歳以上の対象者が一番多くなっている。

#### 特定保健指導レベル該当状況

	健診受診者数 (人)	該当レベル		
		特定保健指導対象者(人)		
			積極的支援	動機付け支援
該当者数(人)	7,974	784	166	618
割合※(%)	-	9.8%	2.1%	7.8%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

#### 年齢階層別特定保健指導レベル該当状況

年齢階層	健診受診者数(人)	特定保健指導対象者数(人)					
		積極的支援			動機付け支援		
		人数(人)	割合(%) ※		人数(人)	割合(%) ※	
40歳～44歳	292	56	29	11.1%	27	10.7%	
45歳～49歳	430	67	34	8.9%	33	8.4%	
50歳～54歳	389	51	32	9.6%	19	5.4%	
55歳～59歳	367	46	24	7.4%	22	7.1%	
60歳～64歳	871	90	47	5.3%	43	5.3%	
65歳～69歳	2,414	263	0	0.0%	263	11.5%	
70歳～	3,211	211	0	0.0%	211	8.7%	
合計	7,974	784	166	2.1%	618	7.8%	

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

#### ※特定保健指導の対象者(階層化の基準)

腹囲/BMI	追加リスク	喫煙歴(注)	対象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧		40歳-64歳	65歳-74歳
≥85cm(男性) ≥90cm(女性)	2つ以上該当	/	積極的 支援	動機付け 支援
	1つ該当	あり なし		
上記以外でBMI ≥25	3つ該当	/	積極的 支援	動機付け 支援
	2つ該当	あり なし		
	1つ該当	/		

(注)喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

①血糖:空腹時血糖が100mg/dl以上、またはHbA1c(NGSP値)5.6%以上(空腹時血糖及びHbA1c(NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先。)

②脂質:中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満。

③血圧:収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上。

※特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。

※65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみを行っている。

平成26年度から平成28年度における、保健指導レベル該当状況を年度別に示す。  
 平成28年度においては、平成26年度に比べ積極的支援の人数、割合共に減少している。  
 動機づけ支援の人数については、減少しているが割合は同じ数値となった。

### 年度別 保健指導レベル該当状況

年度	健診受診者数(人)	特定保健指導対象者数(人)				
		積極的支援		動機付け支援		
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	
平成26年度	8,871	930	236	2.7%	694	7.8%
平成27年度	8,622	877	211	2.4%	666	7.7%
平成28年度	7,974	784	166	2.1%	618	7.8%

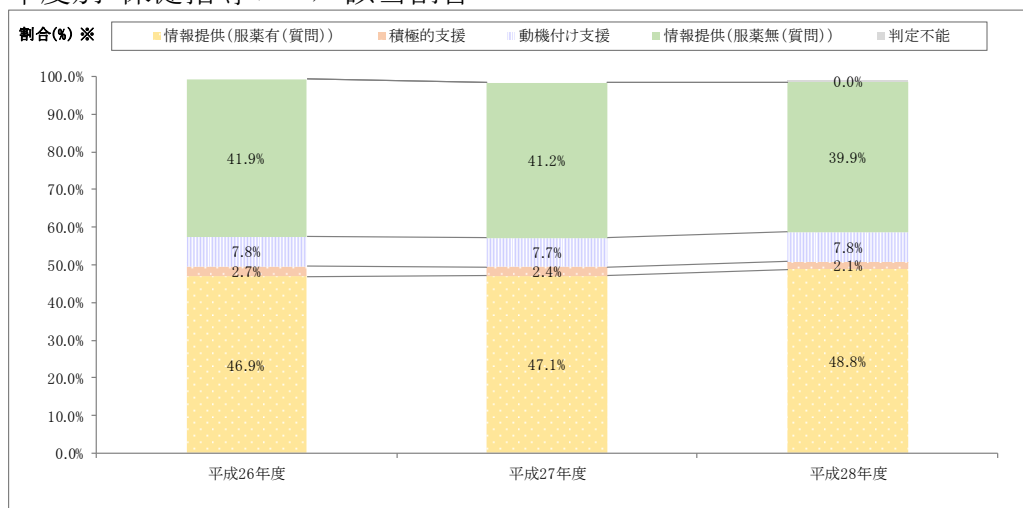
年度	健診受診者数(人)	情報提供				判定不能	
		服薬有(質問)		服薬無(質問)			
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
平成26年度	8,871	4,161	46.9%	3,714	41.9%	0	0.0%
平成27年度	8,622	4,063	47.1%	3,550	41.2%	0	0.0%
平成28年度	7,974	3,891	48.8%	3,179	39.9%	1	0.0%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

### 年度別 保健指導レベル該当割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

## (2) 特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

平成28年度の特定保健指導対象者におけるリスク因子別該当状況を以下に示す。

### 平成28年度特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

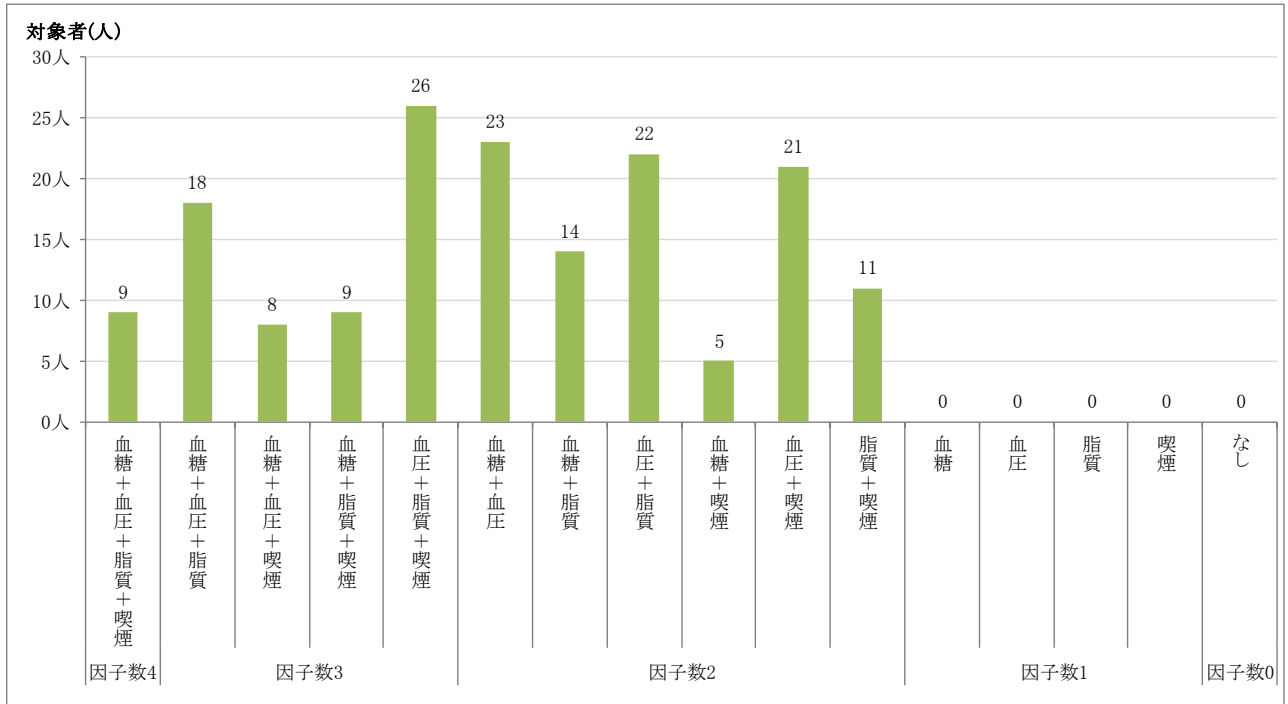
特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			784人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	9人	166人 21%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	18人	
	●	●	●	●		血糖+血圧+喫煙	8人	
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	9人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	26人	
	●	●			因子数2	血糖+血圧	23人	
	●		●			血糖+脂質	14人	
		●	●			血圧+脂質	22人	
	●			●		血糖+喫煙	5人	
		●		●		血圧+喫煙	21人	
	●			●	因子数1	脂質+喫煙	11人	
		●				血糖	0人	
			●			血圧	0人	
			●	脂質		0人		
				喫煙	0人	0人		
				因子数0	なし	0人		
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	7人	618人 79%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	38人	
	●	●	●	●		血糖+血圧+喫煙	19人	
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	2人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	15人	
	●	●			因子数2	血糖+血圧	100人	
	●		●			血糖+脂質	14人	
		●	●			血圧+脂質	57人	
	●			●		血糖+喫煙	6人	
		●		●		血圧+喫煙	20人	
	●			●	因子数1	脂質+喫煙	7人	
		●				血糖	53人	
			●			血圧	220人	
			●	脂質		60人		
				喫煙	0人	0人		
				因子数0	なし	0人		

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

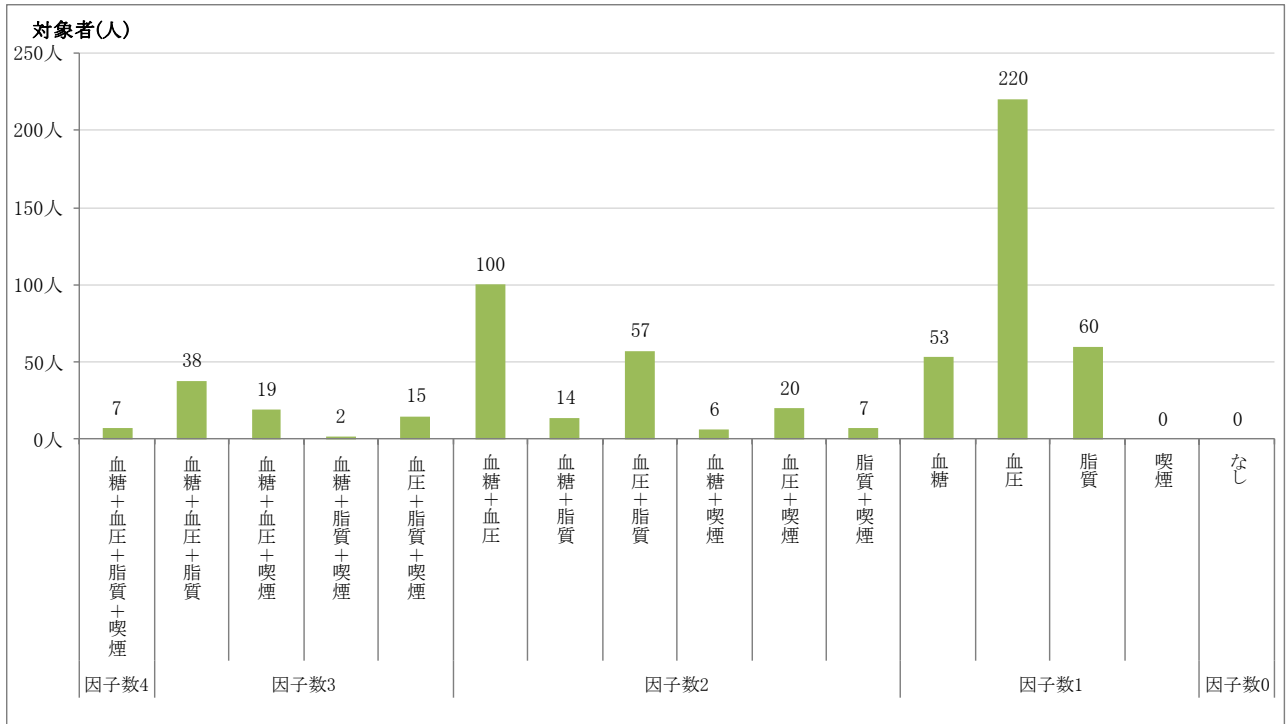
リスク判定の詳細は以下のとおりとする。

- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c 5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

## 積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



## 動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



## 5. 特定保健指導実施状況に基づく課題と対策

課題と対策は以下のとおりである。

### ◆特定保健指導利用率

#### 【特定保健指導利用率における課題】

特定保健指導利用率は低い状況が続いており、平成28年度特定保健指導利用率は11.7%であり、第2期特定健康診査等実施計画の平成29年度到達目標値である60%には届いていない。

#### 【特定保健指導利用率における対策】

特定保健指導未利用者に対し、利用につながる効果的な勧奨方法等について、新たな取り組みを検討し実施することで利用率の向上につなげていく。また、特定健康診査受診後に、速やかに特定保健指導の利用につながるような実施方法等についても検討していく。

### ◆メタボリックシンドローム及び特定保健指導該当状況

#### 【メタボリックシンドローム及び特定保健指導該当状況における課題】

平成28年度の特定保健指導の実施データから算出をすると、メタボリックシンドローム基準該当割合は17.9%、予備群該当割合は11.2%である。また、積極的支援対象者割合は2.1%、動機づけ支援対象者割合は7.8%である。

#### 【メタボリックシンドローム及び特定保健指導該当状況における対策】

メタボリックシンドローム及び特定保健指導該当者数や該当割合を減少させるため、年齢が比較的若い対象者に、積極的な指導を実施していくなど効果的な指導方法について検討していく。

## 第5章 特定健康診査等実施計画について

# 第5章 特定健康診査等実施計画について

## 1. 目標

国では、市区町村国保において、計画期間の最終年度である平成35年度までに特定健康診査受診率60.0%以上、特定保健指導実施率60.0%以上、特定保健指導対象者の減少率25.0%以上を達成することとしている。本市においては各年度の目標値を以下のとおり設定する。

### 目標値

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成35年度 (国基準)
特定健康診査受診率(%)	51.0%	53.0%	55.0%	57.0%	58.0%	60.0%	60.0%以上
特定保健指導実施率(%)	25.0%	32.0%	39.0%	45.0%	52.0%	60.0%	60.0%以上
特定保健指導対象者の 減少率(%)※						25.0%	25.0%以上

※平成20年度比

## 2. 対象者数推計

### (1) 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

平成30年度から平成35年度までの特定健康診査対象者数及び受診者数について、各年度の見込みを示す。

#### 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定健康診査対象者数(人)	14,998	14,072	13,293	12,672	11,915	10,905
特定健康診査受診率(%) (目標値)	51.0%	53.0%	55.0%	57.0%	58.0%	60.0%
特定健康診査受診者数(人)	7,648	7,458	7,311	7,223	6,910	6,543

#### 年齢階層別 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定健康診査 対象者数(人)	40歳～64歳	7,163	6,635	6,162	5,727	5,365	5,018
	65歳～74歳	7,835	7,437	7,131	6,945	6,550	5,887
特定健康診査 受診者数(人)	40歳～64歳	2,220	2,123	2,156	2,118	2,038	2,057
	65歳～74歳	5,428	5,335	5,155	5,105	4,872	4,486



## (2) 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

平成30年度から平成35年度までの特定保健指導対象者数及び実施者数について、各年度の見込みを示す。

### 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定保健指導対象者数(人)	778	762	745	736	716	679
特定保健指導実施率(% (目標値))	25.0%	32.0%	39.0%	45.0%	52.0%	60.0%
特定保健指導実施者数(人)	194	243	290	331	372	407

### 支援レベル別 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

			平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
積極的 支援	対象者数(人)	40歳～64歳	173	175	177	179	181	181
	実施者数(人)	40歳～64歳	31	47	63	72	87	109
動機付け 支援	対象者数(人)	40歳～64歳	142	141	140	140	138	138
		65歳～74歳	463	446	428	417	397	360
	実施者数(人)	40歳～64歳	31	41	50	60	69	79
		65歳～74歳	132	155	177	199	216	219

### 3. 実施方法

#### (1) 特定健康診査の実施方法

##### ア. 対象者

4月1日時点における東大和市国民健康保険被保険者であって、当該年度において40歳以上75歳の年齢に達する者とする。ただし、4月1日から9月30日までの間に東大和市後期高齢者医療被保険者となる者、妊産婦、施設等に入所中、6か月以上入院している者、長期不在者等厚生労働大臣が定める者は除く。

##### イ. 実施場所

各医師会と委託契約を結んだ公益社団法人東大和市医師会、一般社団法人小平市医師会及び一般社団法人武蔵村山市医師会（以下「各医師会」という。）の会員の医療機関とする。

##### ウ. 実施項目

国が定める対象者全員に実施する「基本的な健診項目」と、医師が必要と判断した場合に実施する「詳細な健診の項目」に基づき実施する。

特定健康診査内容表

区分	内容		
特定健康診査※	基本的な健診の項目	既往歴の調査（服薬歴及び喫煙習慣の状況に係る調査を含む）	
		自覚症状及び他覚症状の検査	
		身体計測	身長
			体重
			腹囲
			BMI
		血圧	収縮期血圧
			拡張期血圧
		血中脂質検査	中性脂肪
			HDL-コレステロール
	LDL-コレステロール		
	肝機能検査	GOT（AST）	
		GPT（ALT）	
		γ-GT（γ-GTP）	
	血糖検査	空腹時血糖（又は随時血糖）	
		ヘモグロビンA <sub>1c</sub>	
	尿検査	糖	
		蛋白	
	詳細な健診の項目 （医師の判断による追加項目）※	貧血検査	赤血球数
血色素量			
ヘマトクリット値			
白血球数			
血小板数			
心電図検査			
眼底検査			
その他の健診項目(注)	総コレステロール、血清クレアチニン(eGFRを含む)、尿酸、アルブミン、尿潜血		

※ 特定健康診査の結果を受診者に通知する際には、結果内容に合わせた、実施基準第3条に基づく必要な情報を提供するものとする。

※ 問診時等に採血時間（食後10時間以上か以下か）について確認すること。

※ 詳細な健診の項目（医師の判断による追加項目）を実施する場合は、受診者に十分な説明を行うと共に、国保連合会に送付する結果データにおいてその理由を詳述することとする。

※ 生理中の女性に対する尿検査については、検査不能として実施を行わない場合も認めるものの、その他の項目については全て実施すること。実施されなかった場合は完全に実施するまで何度も実施するか、未実施扱いとする（この場合東大和市から各医師会に委託費用は支払われない）。

(注) その他の健診項目は、特定健康診査を受診する者に対し、同時に行う東大和市健康増進事業における追加検査項目である。

## エ. 実施時期

特定健康診査受託医療機関において6月から12月20日まで実施する。

※小平市の特定健康診査受託医療機関は、10月末まで実施する。

## オ. 案内方法

対象者に、特定健康診査受診券と受診案内を個別に発送する。また、広報やホームページ等で周知を図る。

## (2) 特定保健指導の実施方法

### ア. 対象者

国が定める「特定保健指導対象者の選定基準」に基づき、特定健康診査の結果を踏まえ、内臓脂肪蓄積の程度とリスク要因数による階層化を行い、対象者を抽出する。

ただし、質問票により服薬中と判断された者は、医療機関における継続的な医学的管理のもとでの指導が適当であるため、対象者から除くこととする。また、65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみ実施する。

### 特定保健指導対象者の選定基準

腹囲/BMI	追加リスク			喫煙歴(注)	対象	
	①血糖	②脂質	③血圧		40歳-64歳	65歳-74歳
≥85cm (男性) ≥90cm (女性)	2つ以上該当			/	積極的 支援	動機付け 支援
	1つ該当					
上記以外でBMI ≥25	3つ該当			/	積極的 支援	動機付け 支援
	2つ該当					
	1つ該当					

(注) 喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

①血糖: 空腹時血糖が100mg/dl以上、またはHbA1c(NGSP値)5.6%以上(空腹時血糖及びHbA1c(NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先。)

②脂質: 中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満。

③血圧: 収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上。

※特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。

※65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみを行っている。

## イ. 実施場所

社会医療法人財団大和会東大和病院附属セントラルクリニック(平成29年度現在)

## ウ. 実施項目

保健指導レベルに応じた内容の保健指導を実施する。

### 保健指導の内容

	支援形態	支援内容
積極的支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・初回面接 一人当たり20分以上の個別支援、 または1グループあたりおおむね 80分以上のグループ支援。</li><li>・3カ月以上の継続支援 個別支援、グループ支援の他、電 話等の通信手段を組み合わせる 行う。</li><li>・実績評価 行動計画策定の日から6カ月以上 経過後に面接または通信手段を利 用して行う。</li></ul>	特定健康診査の結果から、対象者自らが自分の身体に起こっている変化を理解し、生活習慣改善の必要性を実感できるような働きかけを行う。また、具体的に実践可能な行動目標を対象者が選択できるように支援する。支援者は目標達成のために必要な支援計画を立て、行動が継続できるように定期的・継続的に介入する。
動機付け支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・初回面接 一人当たり20分以上の個別支援、 または1グループあたりおおむね 80分以上のグループ支援。</li><li>・実績評価 行動計画策定の日から6カ月以上 経過後に面接または通信手段を利 用して行う。</li></ul>	対象者自らが、自分の生活習慣の改善すべき点を自覚することで行動目標を設定し、目標達成に向けた取り組みが継続できるように動機付け支援を行う。

## エ. 実施時期

特定保健健康診査の結果に基づき、随時実施をする。ただし、初回面談については、年度内に終了させるものとする。

## オ. 案内方法

対象者に対して、特定保健指導利用券を発送する。

## 4. 実施スケジュール

	実施項目	当年度												次年度			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
特定健康診査	対象者抽出	←————→															
	受診券送付		←————→														
	特定健康診査実施		←————→														
	未受診者受診勧奨								↔								
特定保健指導	対象者抽出			←————→													
	利用券送付						←————→										
	特定保健指導実施						←————→										
	未利用者利用勧奨									←————→							
前年度の評価						↔											

※小平市の特定健康診査受託医療機関については、10月末までを実施期間とする。



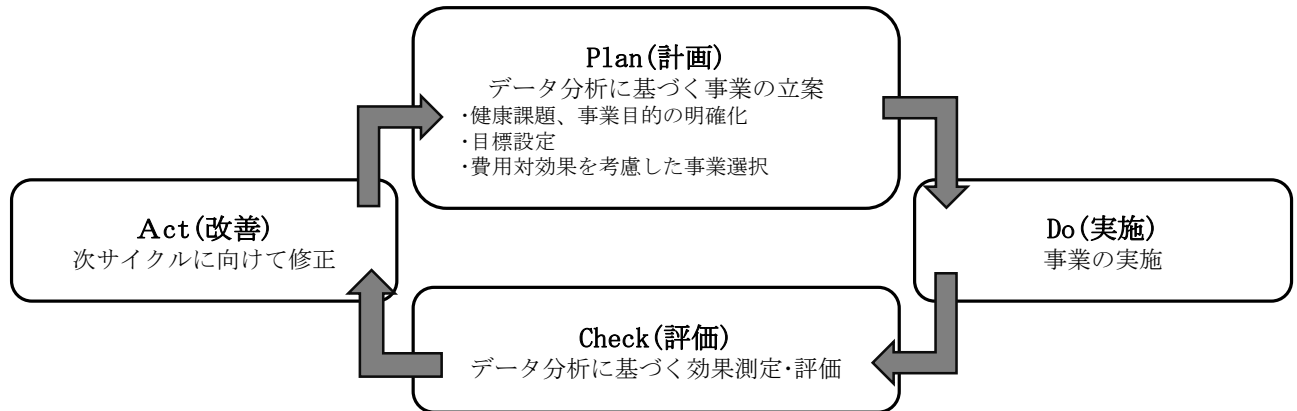
## 第6章 その他

# 第6章 その他

## 1. 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し

### (1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、レセプトデータ、特定健康診査及び特定保健指導結果等の分析による医療情報等を活用し、PDCAサイクルに沿った効果的かつ有効的な特定健康診査・特定保健指導等の実施を図るため、平成32年度に中間評価、平成35年度に実績評価を行うこととする。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

### (2) 評価時期

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
PDCA			PDCA		
		中間評価			実績評価

## 2. 計画の公表・周知

本計画は、ホームページ等で公表するとともに、あらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。



### 3. 事業運営上の留意事項

---

本計画の推進にあたっては、健康部門等の関係部局や医師会等との連携が必要となる。地域全体の健康課題に取り組むために、計画内容や実施事業の周知、連携体制の更なる強化や協力体制づくりを進める。

### 4. 個人情報の保護

---

特定健康診査・特定保健指導等で得られる個人情報の取り扱いについては、個人情報の保護に関する法律に基づき制定されたガイドライン、東大和市個人情報保護条例を遵守し、データの適正管理、漏洩防止措置等について周知・徹底を図るものとする。

また、保健事業等を外部に委託する際は、個人情報の厳重な管理や、目的外使用の禁止等を契約書に定めるとともに、委託先の取扱い状況を管理する。



# 年度別 特定健康診査結果分析

# 年度別 特定健康診査結果分析

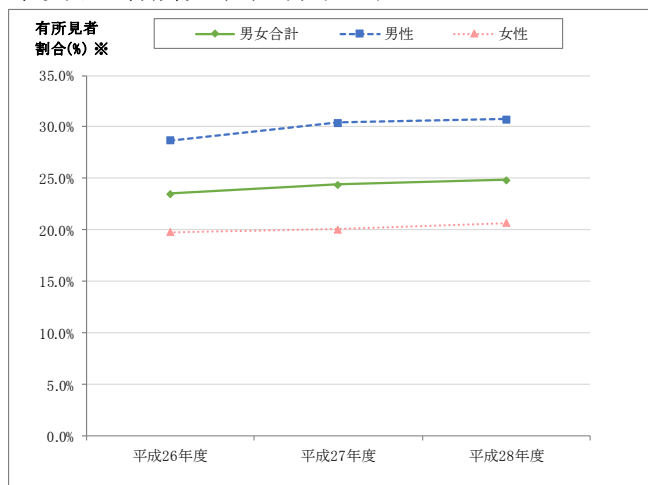
## 1. 有所見者割合

平成26年度から平成28年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合(BMI)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	8,871	8,618	7,969
	有所見者数(人) ※	2,085	2,103	1,980
	有所見者割合(%) ※	23.5%	24.4%	24.9%
男性	対象者数(人) ※	3,703	3,609	3,303
	有所見者数(人) ※	1,063	1,096	1,016
	有所見者割合(%) ※	28.7%	30.4%	30.8%
女性	対象者数(人) ※	5,168	5,009	4,666
	有所見者数(人) ※	1,021	1,005	965
	有所見者割合(%) ※	19.8%	20.1%	20.7%

年度別 有所見者割合(BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

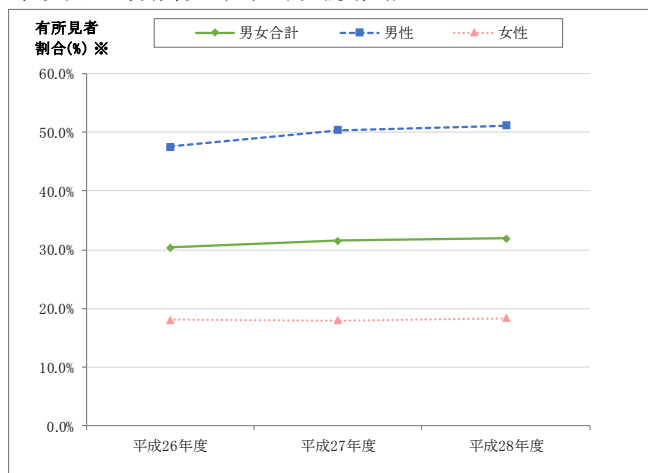
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI: 25以上

## 年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	8,871	8,618	7,967
	有所見者数(人) ※	2,694	2,716	2,546
	有所見者割合(%) ※	30.4%	31.5%	32.0%
男性	対象者数(人) ※	3,704	3,608	3,228
	有所見者数(人) ※	1,761	1,817	1,648
	有所見者割合(%) ※	47.5%	50.4%	51.1%
女性	対象者数(人) ※	5,167	5,010	4,739
	有所見者数(人) ※	933	900	872
	有所見者割合(%) ※	18.1%	18.0%	18.4%

## 年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。  
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

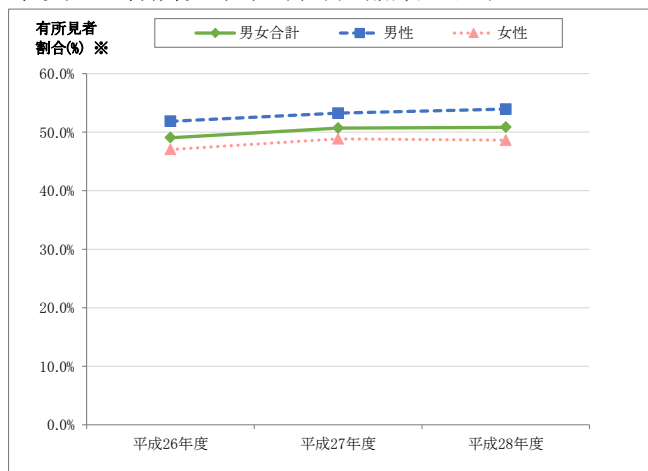
※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。  
腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上

## 年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	8,871	8,622	7,974
	有所見者数(人) ※	4,351	4,370	4,053
	有所見者割合(%) ※	49.0%	50.7%	50.8%
男性	対象者数(人) ※	3,705	3,612	3,307
	有所見者数(人) ※	1,922	1,923	1,783
	有所見者割合(%) ※	51.9%	53.2%	53.9%
女性	対象者数(人) ※	5,166	5,010	4,667
	有所見者数(人) ※	2,429	2,448	2,269
	有所見者割合(%) ※	47.0%	48.9%	48.6%

## 年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

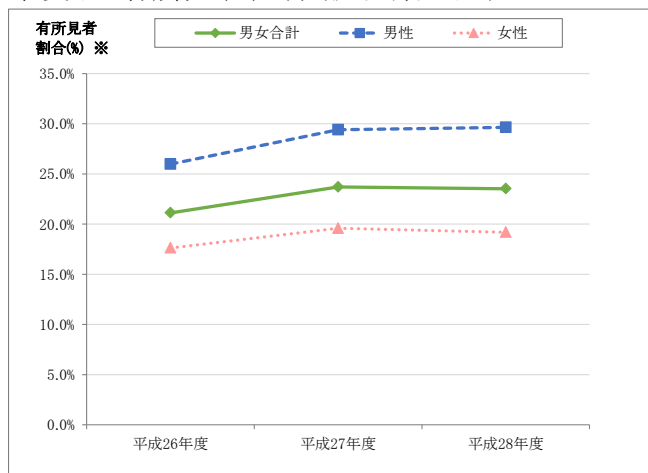
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧: 130 mmHg以上

## 年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	8,871	8,622	7,974
	有所見者数(人) ※	1,873	2,043	1,876
	有所見者割合(%) ※	21.1%	23.7%	23.5%
男性	対象者数(人) ※	3,705	3,612	3,046
	有所見者数(人) ※	963	1,061	903
	有所見者割合(%) ※	26.0%	29.4%	29.6%
女性	対象者数(人) ※	5,166	5,010	4,928
	有所見者数(人) ※	909	981	948
	有所見者割合(%) ※	17.6%	19.6%	19.2%

## 年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

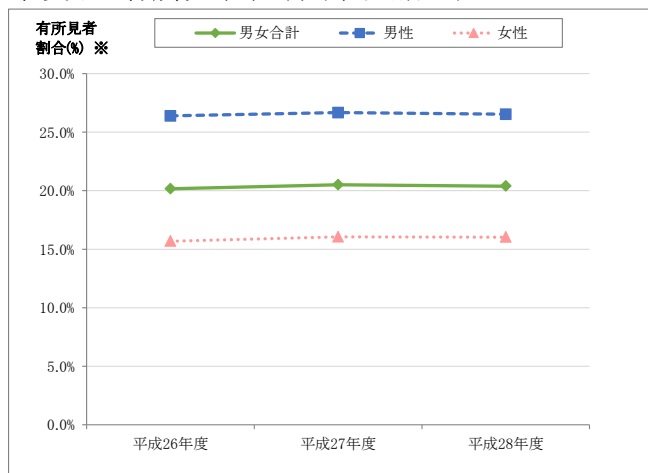
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧: 85mmHg以上

## 年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	8,871	8,622	7,974
	有所見者数(人) ※	1,788	1,767	1,625
	有所見者割合(%) ※	20.2%	20.5%	20.4%
男性	対象者数(人) ※	3,705	3,612	3,307
	有所見者数(人) ※	977	963	877
	有所見者割合(%) ※	26.4%	26.7%	26.5%
女性	対象者数(人) ※	5,166	5,010	4,667
	有所見者数(人) ※	810	805	748
	有所見者割合(%) ※	15.7%	16.1%	16.0%

## 年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値により有所見を判定する。

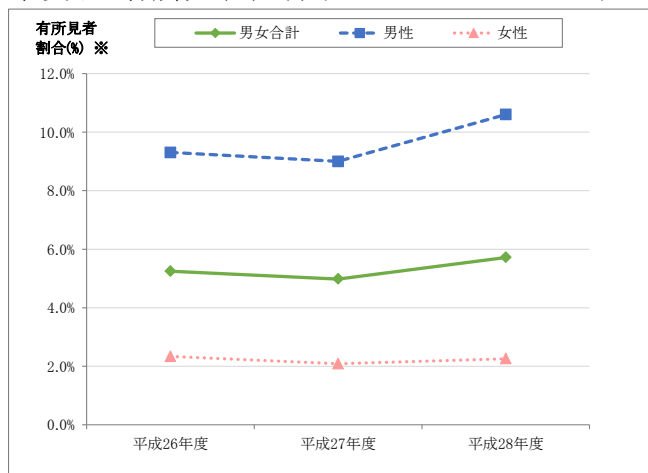
中性脂肪: 150mg/dl以上



## 年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	8,871	8,622	7,974
	有所見者数(人) ※	465	429	456
	有所見者割合(%) ※	5.2%	5.0%	5.7%
男性	対象者数(人) ※	3,705	3,612	3,307
	有所見者数(人) ※	344	325	350
	有所見者割合(%) ※	9.3%	9.0%	10.6%
女性	対象者数(人) ※	5,166	5,010	4,667
	有所見者数(人) ※	120	104	106
	有所見者割合(%) ※	2.3%	2.1%	2.3%

## 年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

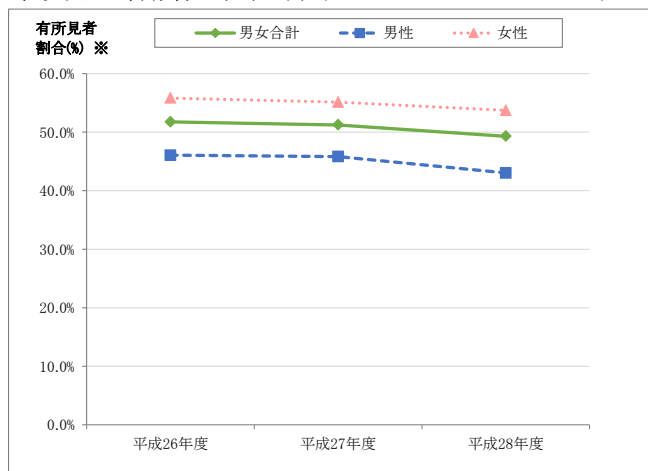
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール: 39mg/dl以下

## 年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	8,871	8,622	7,974
	有所見者数(人) ※	4,590	4,417	3,930
	有所見者割合(%) ※	51.7%	51.2%	49.3%
男性	対象者数(人) ※	3,705	3,612	3,307
	有所見者数(人) ※	1,707	1,655	1,423
	有所見者割合(%) ※	46.1%	45.8%	43.0%
女性	対象者数(人) ※	5,166	5,010	4,667
	有所見者数(人) ※	2,883	2,761	2,507
	有所見者割合(%) ※	55.8%	55.1%	53.7%

## 年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

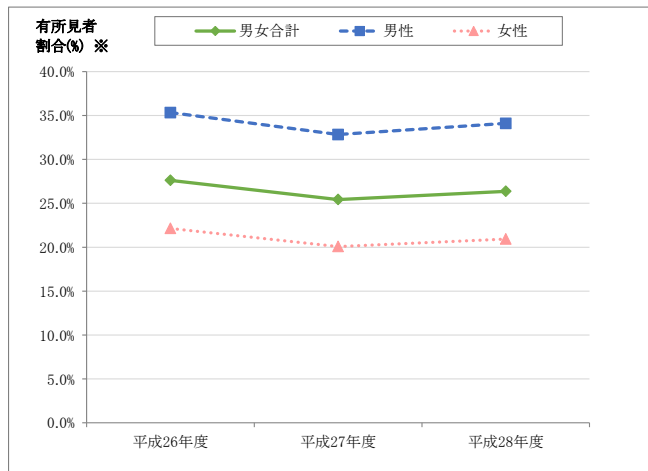
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール: 120mg/dl以上

## 年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	6,175	6,141	5,800
	有所見者数(人) ※	1,704	1,560	1,528
	有所見者割合(%) ※	27.6%	25.4%	26.4%
男性	対象者数(人) ※	2,561	2,573	2,390
	有所見者数(人) ※	904	844	815
	有所見者割合(%) ※	35.3%	32.8%	34.1%
女性	対象者数(人) ※	3,614	3,568	3,410
	有所見者数(人) ※	799	716	713
	有所見者割合(%) ※	22.1%	20.1%	20.9%

## 年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

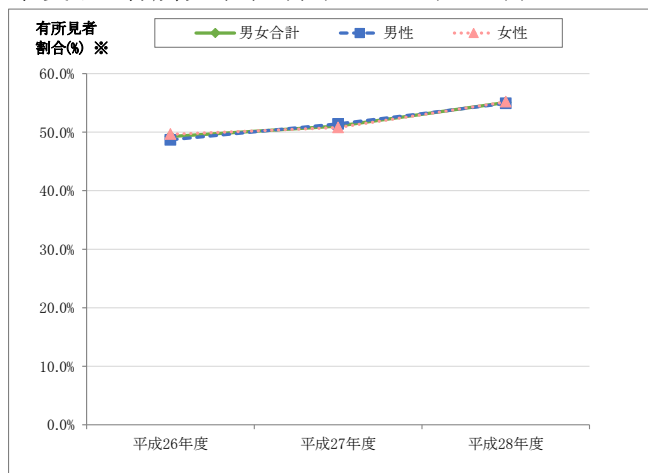
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値: 100mg/dl以上

## 年度別 有所見者割合 (HbA 1 c)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	8,871	8,622	7,974
	有所見者数(人) ※	4,368	4,400	4,390
	有所見者割合(%) ※	49.2%	51.0%	55.1%
男性	対象者数(人) ※	3,705	3,612	3,307
	有所見者数(人) ※	1,803	1,856	1,816
	有所見者割合(%) ※	48.7%	51.4%	54.9%
女性	対象者数(人) ※	5,166	5,010	4,667
	有所見者数(人) ※	2,564	2,544	2,574
	有所見者割合(%) ※	49.6%	50.8%	55.2%

## 年度別 有所見者割合 (HbA 1 c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA 1 c:5.6%以上

## 2. 質問別回答状況

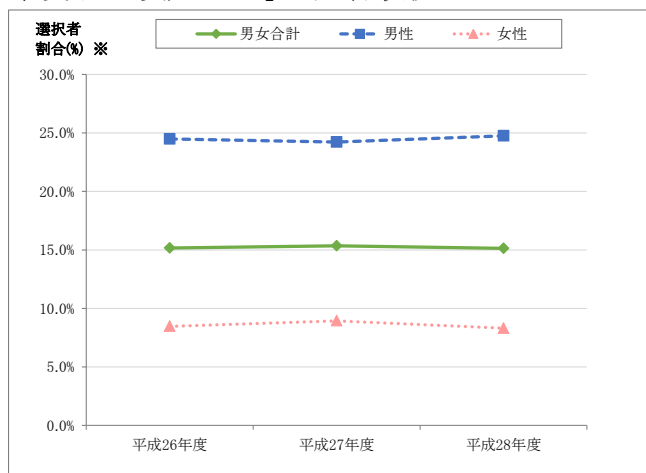
平成26年度から平成28年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示す。

### ①喫煙習慣

#### 年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	8,871	8,622	7,974
	選択者数(人) ※	1,345	1,323	1,206
	選択者割合(%) ※	15.2%	15.3%	15.1%
男性	質問回答者数(人) ※	3,705	3,612	3,307
	選択者数(人) ※	907	875	819
	選択者割合(%) ※	24.5%	24.2%	24.8%
女性	質問回答者数(人) ※	5,166	5,010	4,667
	選択者数(人) ※	437	447	387
	選択者割合(%) ※	8.5%	8.9%	8.3%

#### 年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

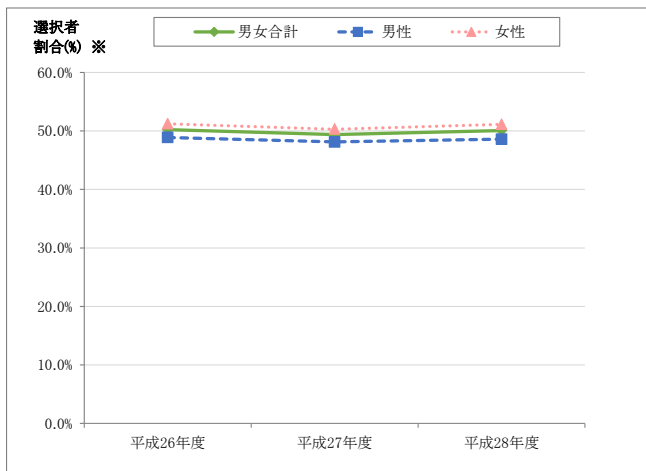
※喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

## ②運動習慣

### 年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	8,869	8,620	7,973
	選択者数(人) ※	4,454	4,255	3,991
	選択者割合(%) ※	50.2%	49.4%	50.1%
男性	質問回答者数(人) ※	3,704	3,611	3,306
	選択者数(人) ※	1,810	1,736	1,606
	選択者割合(%) ※	48.9%	48.1%	48.6%
女性	質問回答者数(人) ※	5,165	5,009	4,667
	選択者数(人) ※	2,643	2,518	2,385
	選択者割合(%) ※	51.2%	50.3%	51.1%

### 年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

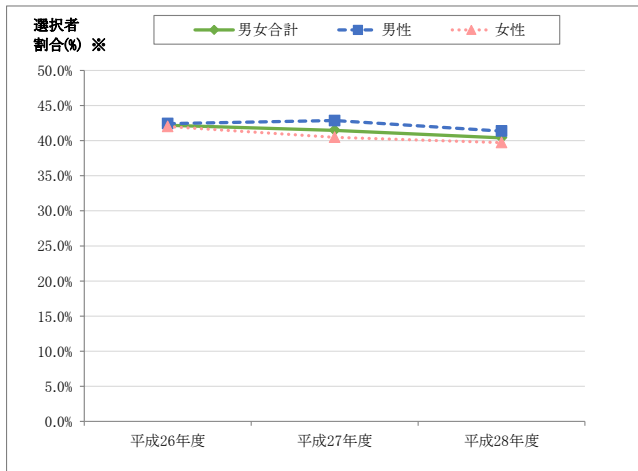
※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

## 年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	8,869	8,619	7,972
	選択者数(人) ※	3,740	3,573	3,220
	選択者割合(%) ※	42.2%	41.5%	40.4%
男性	質問回答者数(人) ※	3,704	3,610	3,306
	選択者数(人) ※	1,570	1,546	1,368
	選択者割合(%) ※	42.4%	42.9%	41.4%
女性	質問回答者数(人) ※	5,165	5,009	4,666
	選択者数(人) ※	2,168	2,027	1,851
	選択者割合(%) ※	42.0%	40.5%	39.7%

## 年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

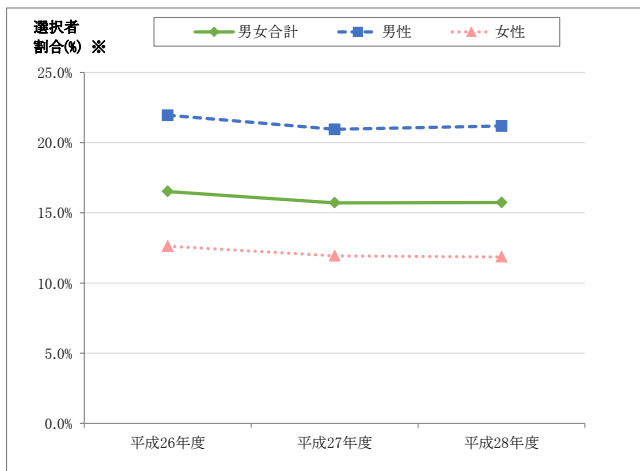
※選択者割合…※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。  
1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

### ③食習慣

#### 年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	8,867	8,620	7,967
	選択者数(人) ※	1,461	1,352	1,247
	選択者割合(%) ※	16.5%	15.7%	15.7%
男性	質問回答者数(人) ※	3,703	3,610	3,303
	選択者数(人) ※	813	754	699
	選択者割合(%) ※	22.0%	20.9%	21.2%
女性	質問回答者数(人) ※	5,164	5,010	4,664
	選択者数(人) ※	649	595	554
	選択者割合(%) ※	12.6%	11.9%	11.9%

#### 年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

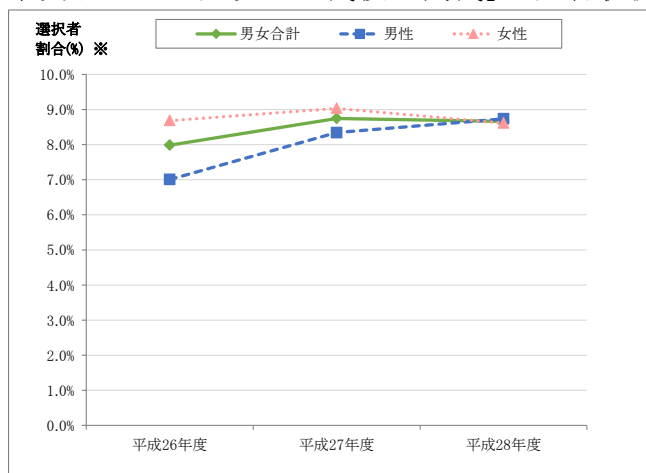
※週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。



## 年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	8,865	8,618	7,970
	選択者数(人) ※	705	749	690
	選択者割合(%) ※	8.0%	8.7%	8.7%
男性	質問回答者数(人) ※	3,700	3,609	3,305
	選択者数(人) ※	258	299	286
	選択者割合(%) ※	7.0%	8.3%	8.7%
女性	質問回答者数(人) ※	5,165	5,009	4,665
	選択者数(人) ※	447	449	400
	選択者割合(%) ※	8.7%	9.0%	8.6%

## 年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。

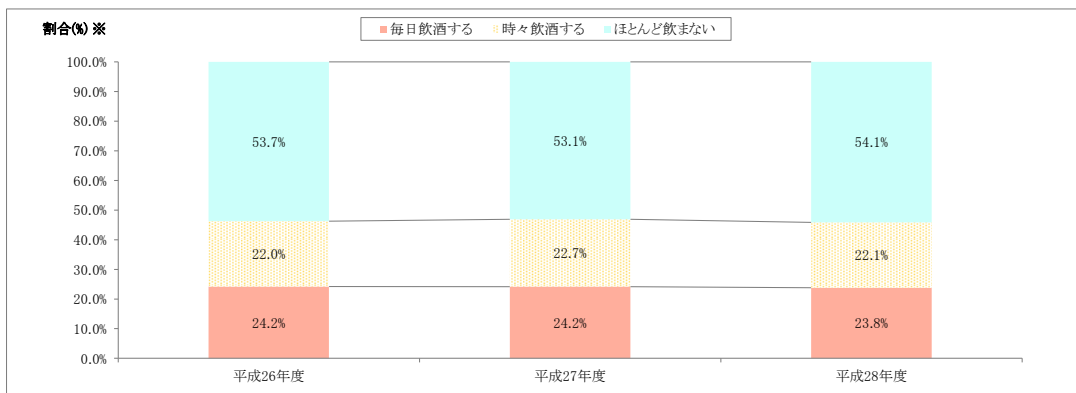
※週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

#### ④ 飲酒習慣

##### 年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	8,868	2,147	24.2%	1,955	22.0%	4,766	53.7%
平成27年度	8,618	2,087	24.2%	1,953	22.7%	4,578	53.1%
平成28年度	7,969	1,896	23.8%	1,761	22.1%	4,312	54.1%

##### 年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

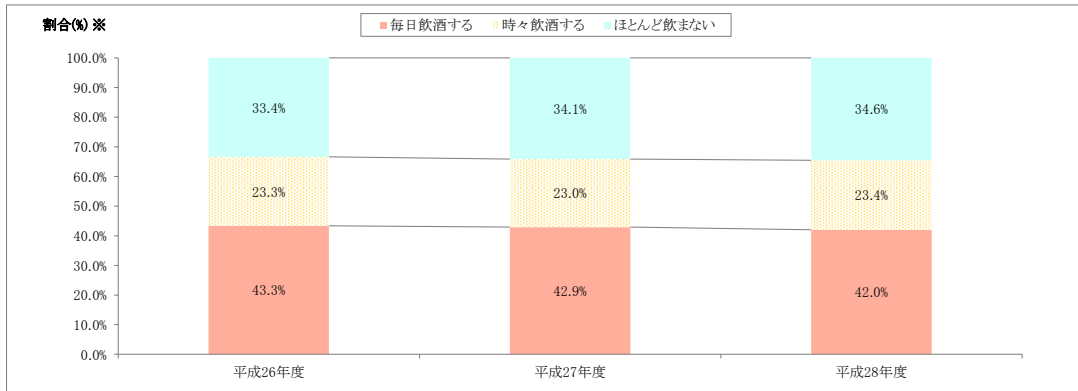
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

※飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	3,704	1,604	43.3%	862	23.3%	1,238	33.4%
平成27年度	3,612	1,549	42.9%	830	23.0%	1,233	34.1%
平成28年度	3,307	1,389	42.0%	774	23.4%	1,144	34.6%

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

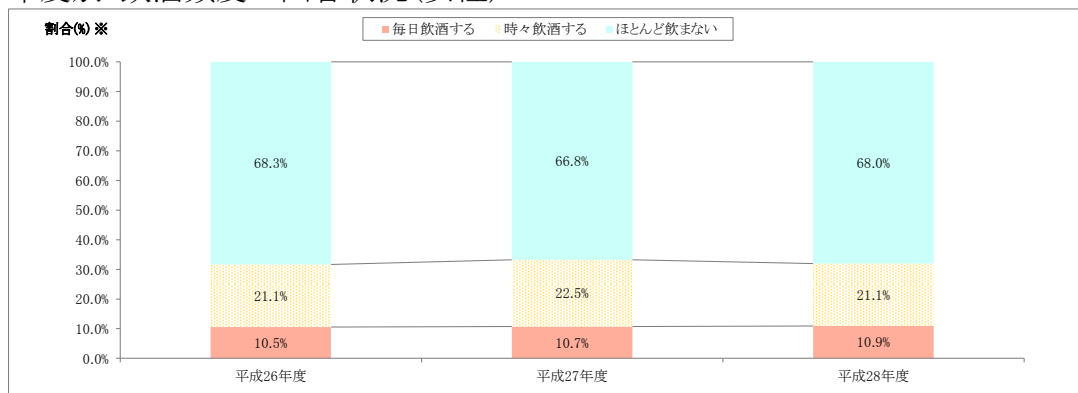
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

※飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	5,164	543	10.5%	1,092	21.1%	3,529	68.3%
平成27年度	5,006	536	10.7%	1,126	22.5%	3,344	66.8%
平成28年度	4,662	507	10.9%	985	21.1%	3,170	68.0%

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

※飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

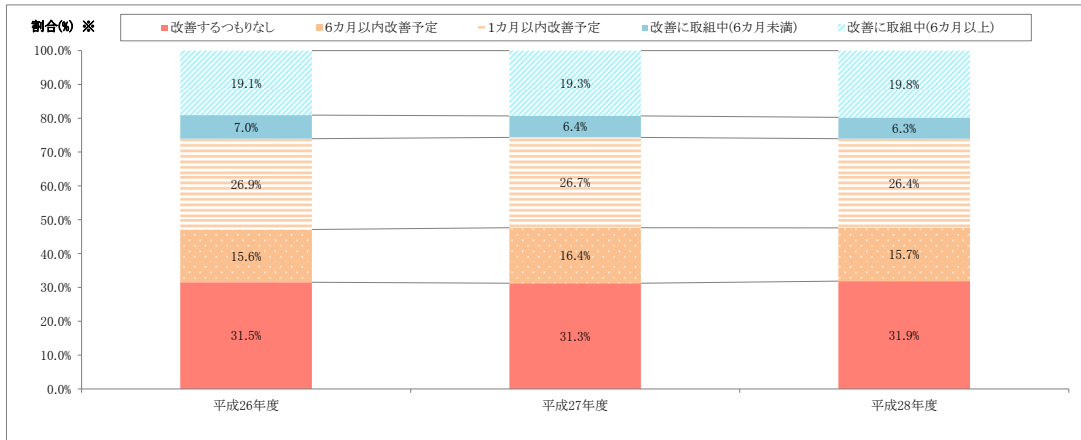
## ⑤生活習慣

### 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	8,863	2,795	31.5%	1,380	15.6%	2,382	26.9%
平成27年度	8,614	2,693	31.3%	1,410	16.4%	2,302	26.7%
平成28年度	7,963	2,537	31.9%	1,254	15.7%	2,099	26.4%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取組中(6カ月未満)		改善に取組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	8,863	617	7.0%	1,689	19.1%
平成27年度	8,614	547	6.4%	1,662	19.3%
平成28年度	7,963	500	6.3%	1,573	19.8%

### 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

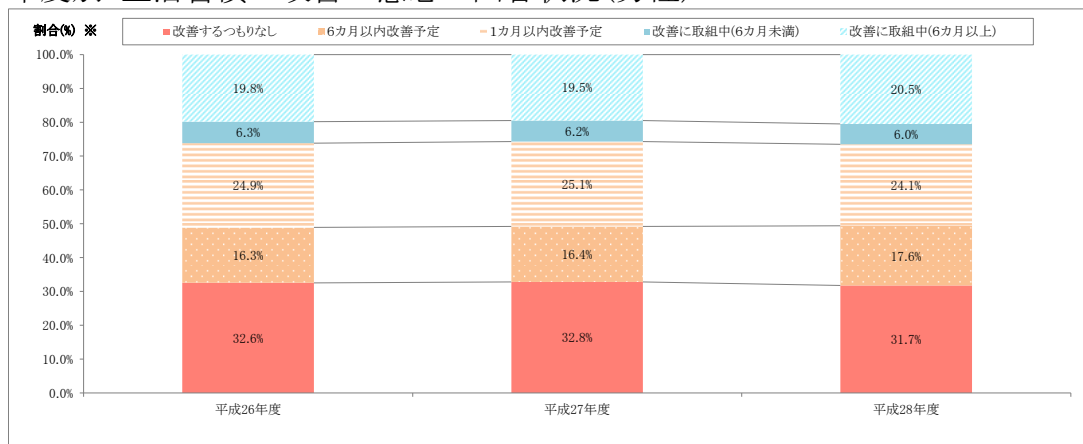
※生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	3,705	1,208	32.6%	605	16.3%	924	24.9%
平成27年度	3,612	1,186	32.8%	592	16.4%	907	25.1%
平成28年度	3,307	1,049	31.7%	583	17.6%	798	24.1%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	3,705	233	6.3%	735	19.8%
平成27年度	3,612	223	6.2%	704	19.5%
平成28年度	3,307	198	6.0%	679	20.5%

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

※生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

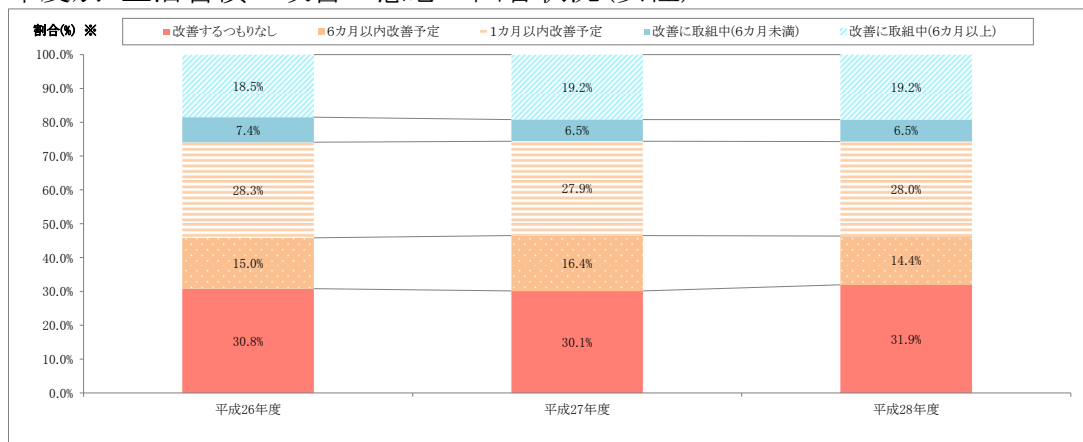
## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	5,158	1,587	30.8%	776	15.0%	1,458	28.3%
平成27年度	5,002	1,505	30.1%	819	16.4%	1,395	27.9%
平成28年度	4,666	1,490	31.9%	672	14.4%	1,305	28.0%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	5,158	383	7.4%	954	18.5%
平成27年度	5,002	324	6.5%	959	19.2%
平成28年度	4,666	302	6.5%	897	19.2%

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

※生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。





# 卷末資料

## 1. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3ヶ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。いわゆる特定健診。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2か月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさったり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

## 2. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	膵癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球形貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Y a h r 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿痂疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		

東大和市国民健康保険第3期特定健康診査等実施計画  
(平成30年度～平成35年度)

発行年月／平成30年 月

発行／東大和市

編集／東大和市市民部保険年金課

〒 207-8585

東京都東大和市中心3丁目930番地

TEL 042 (563) 2111 (代表)